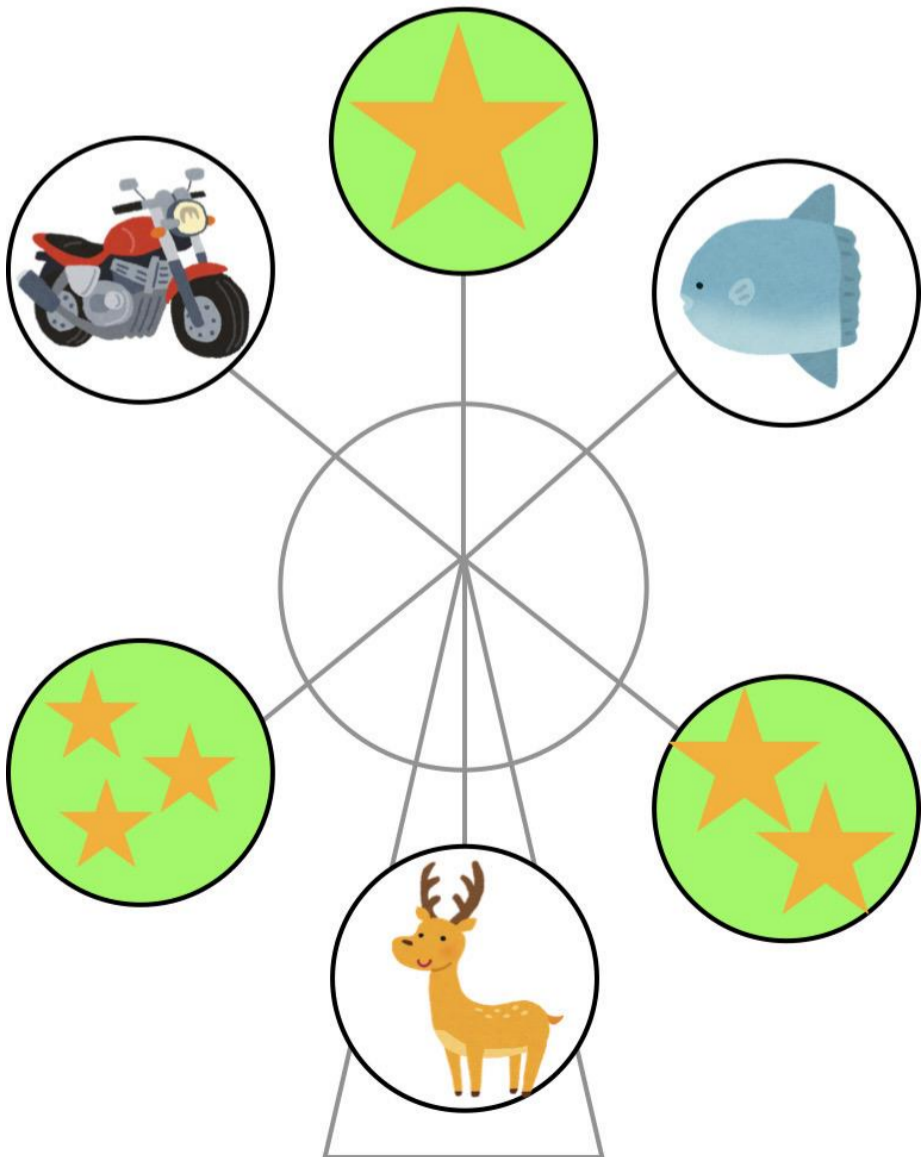
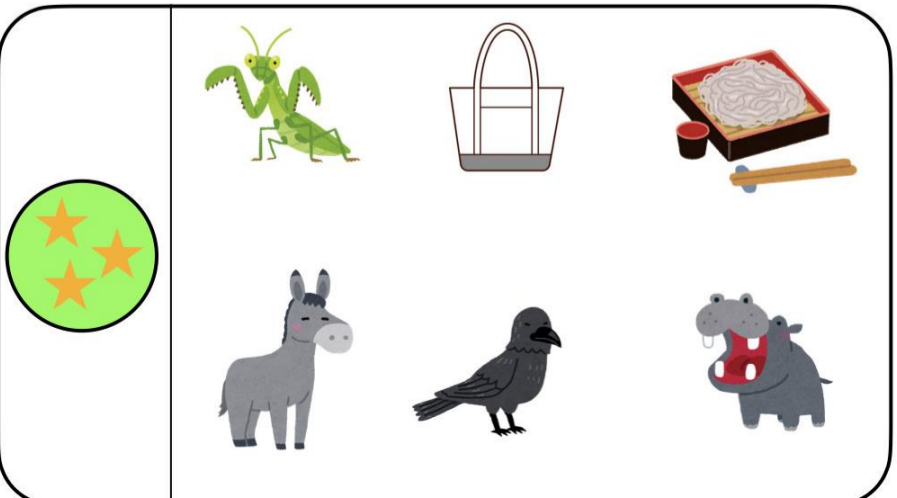
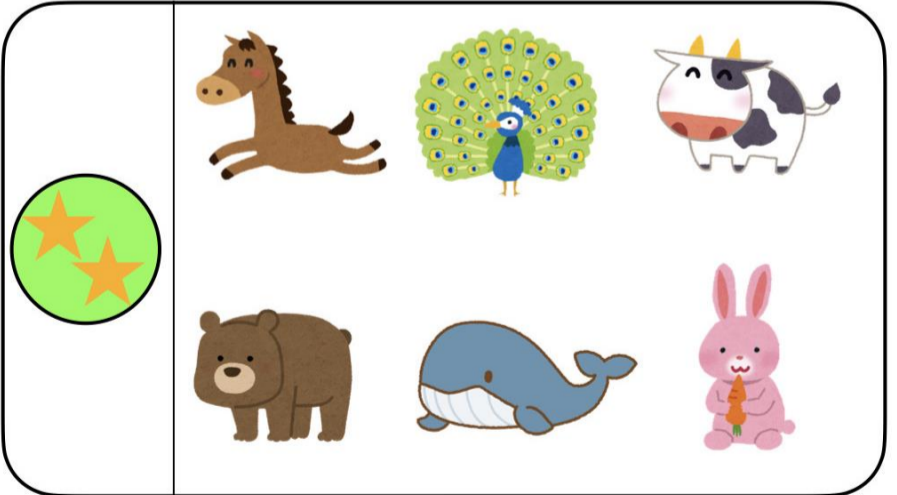
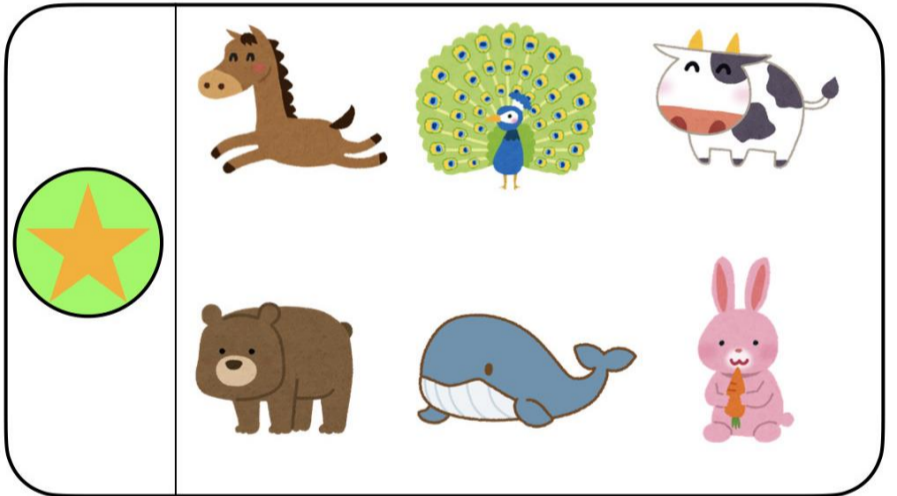
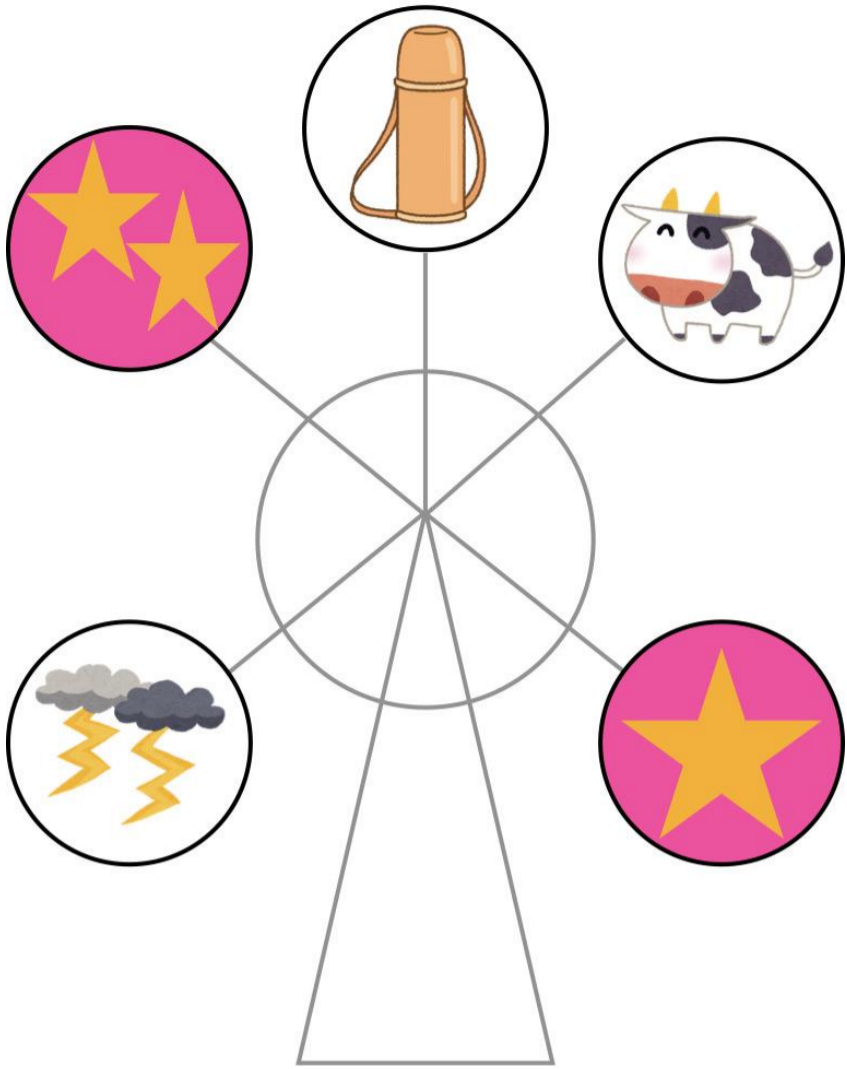
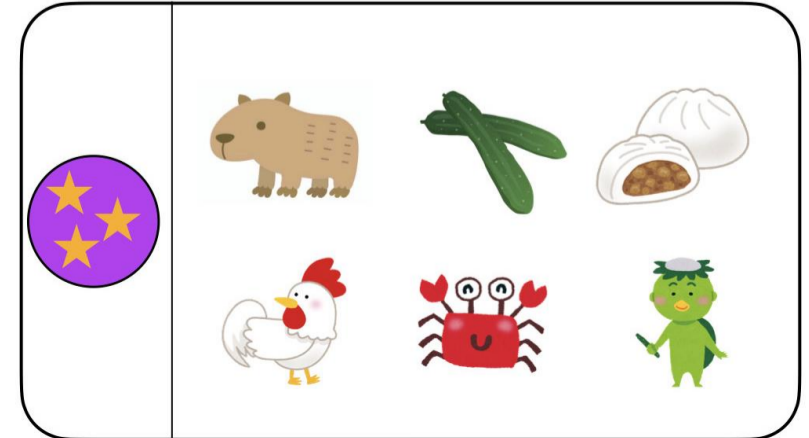
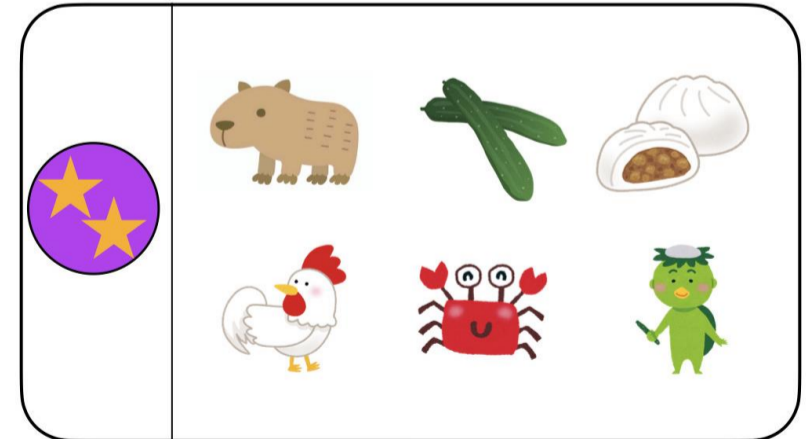
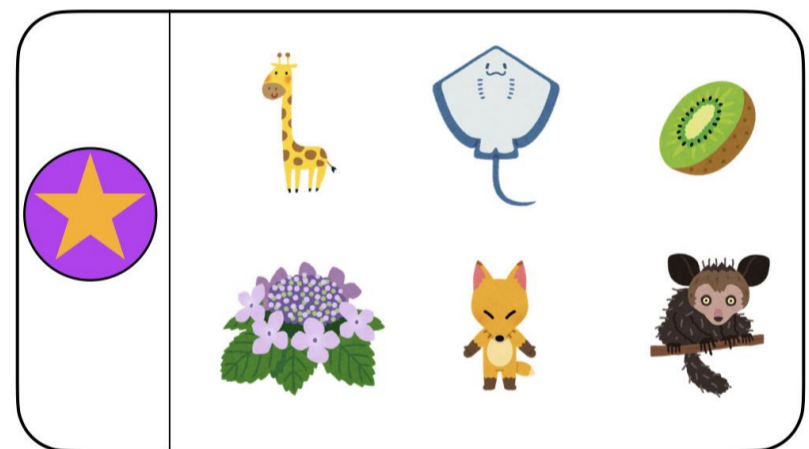
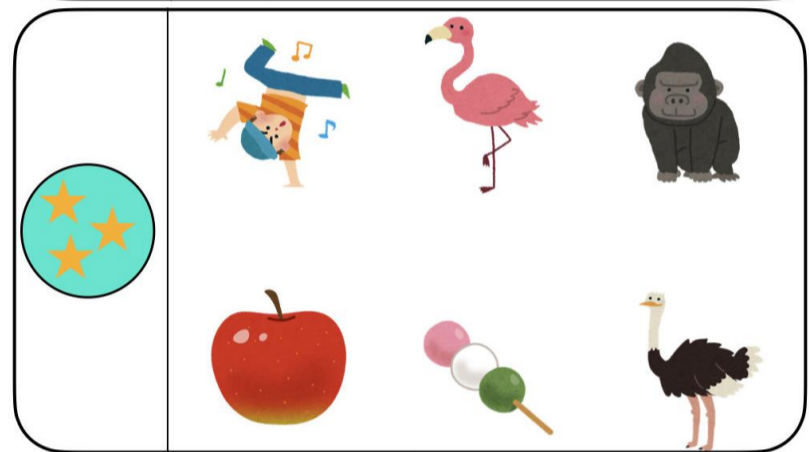
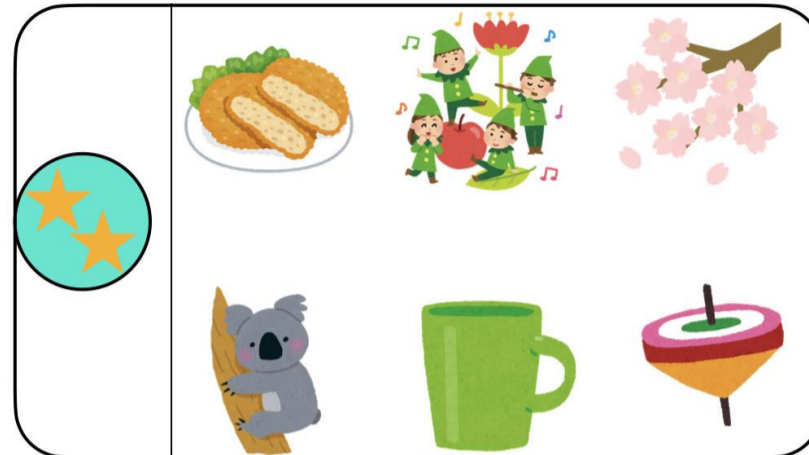
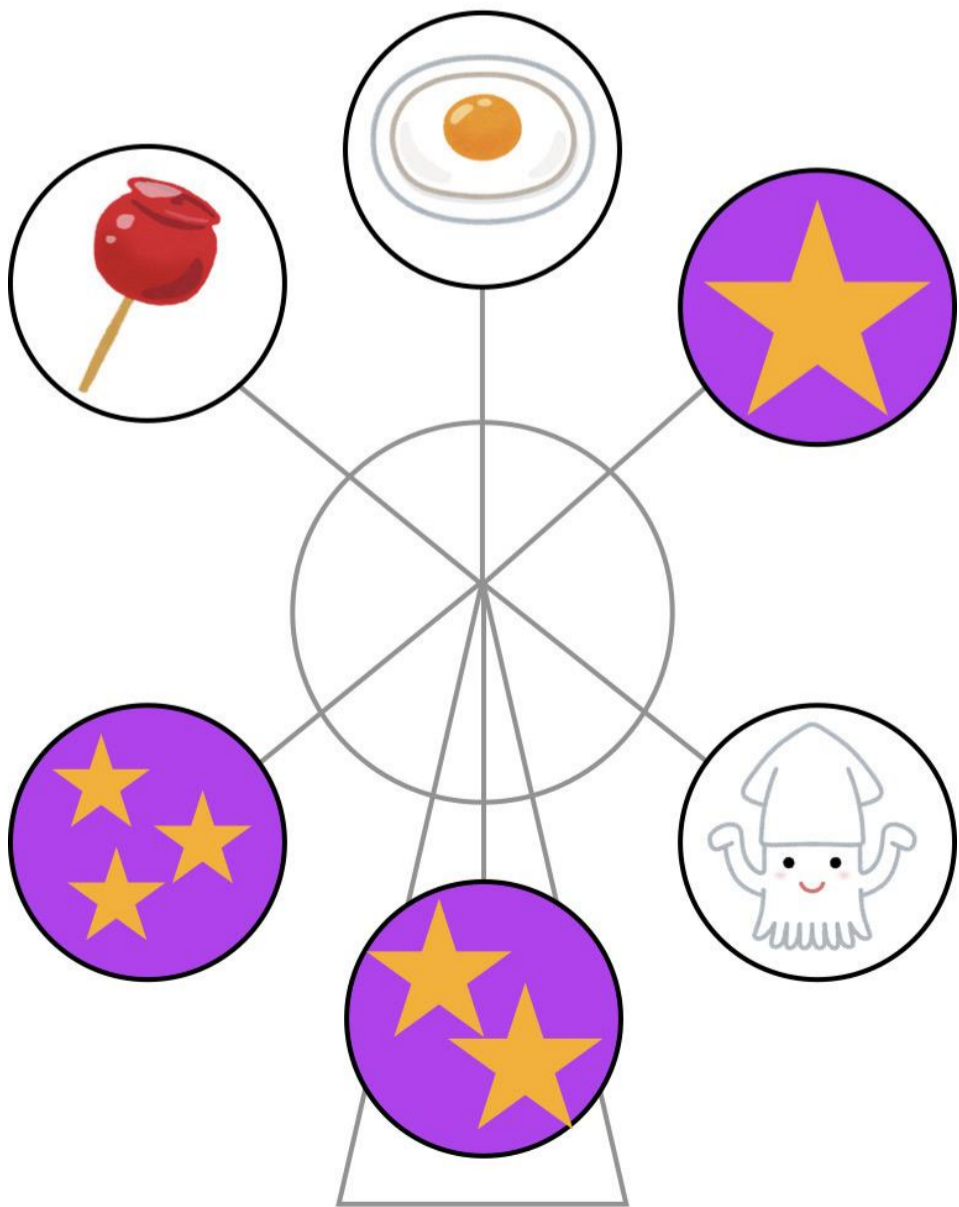
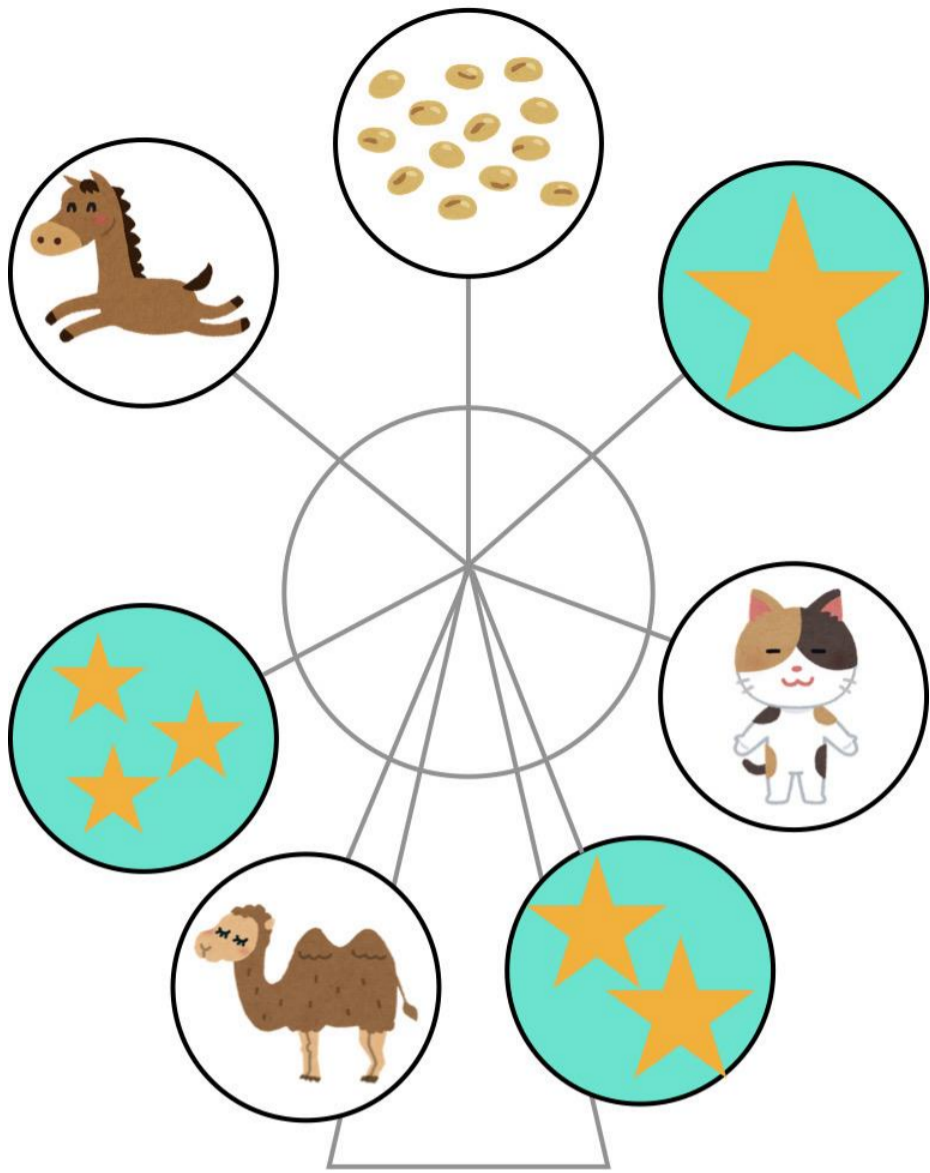
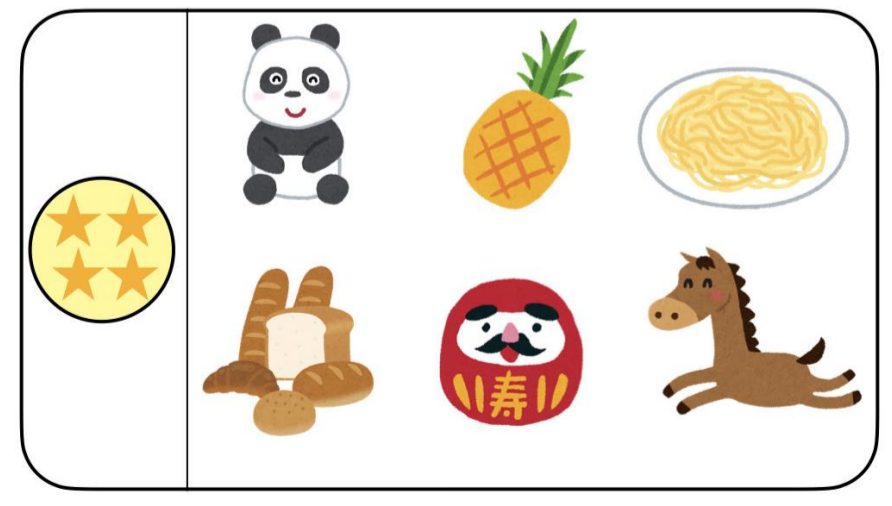
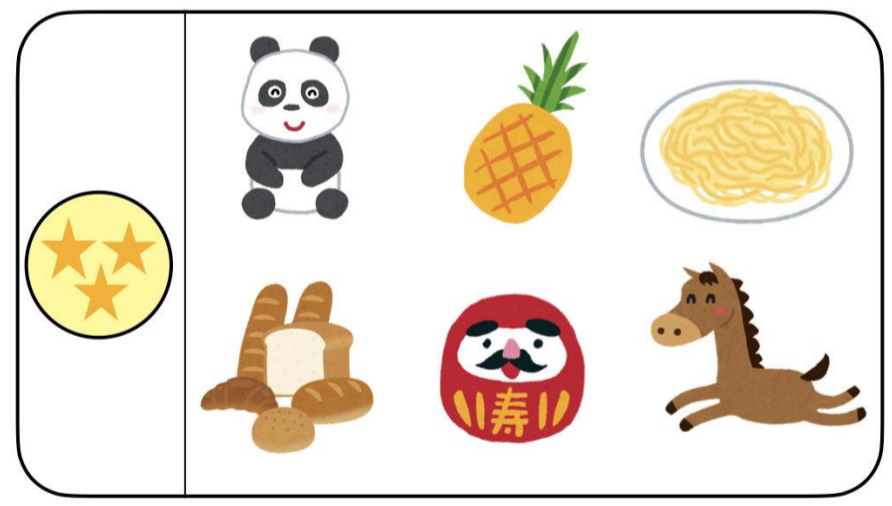
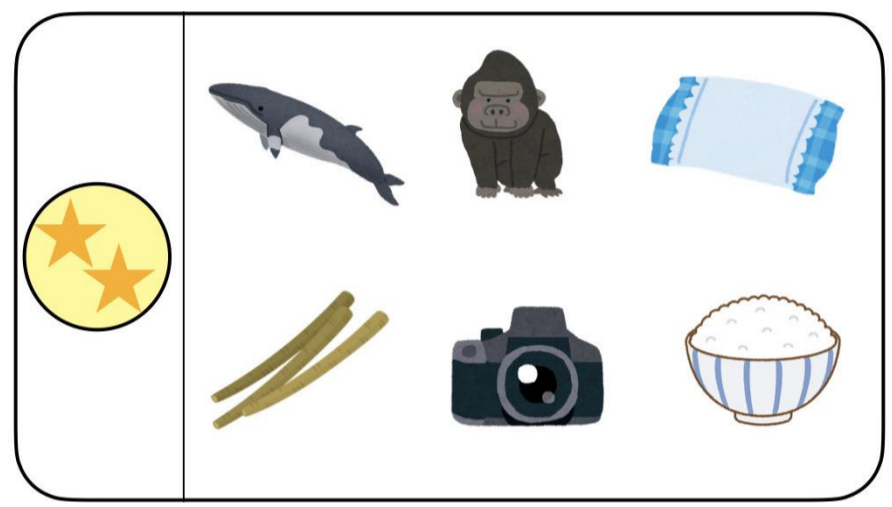
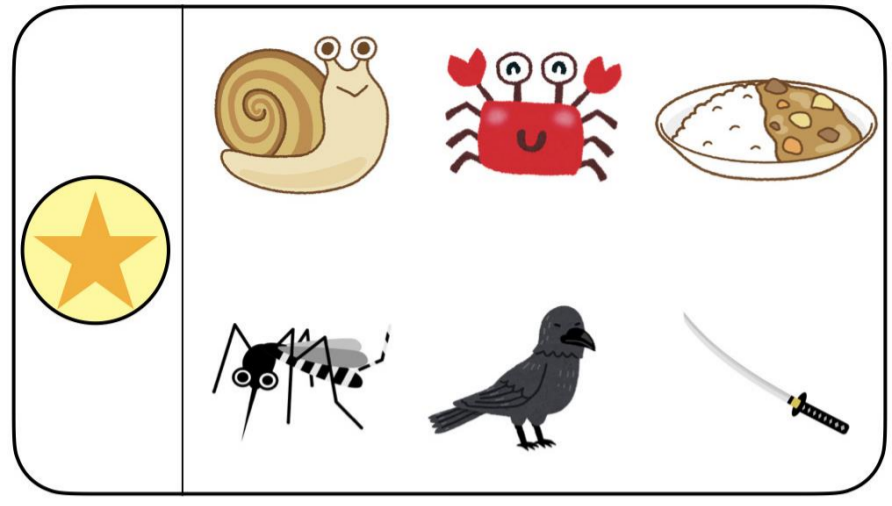
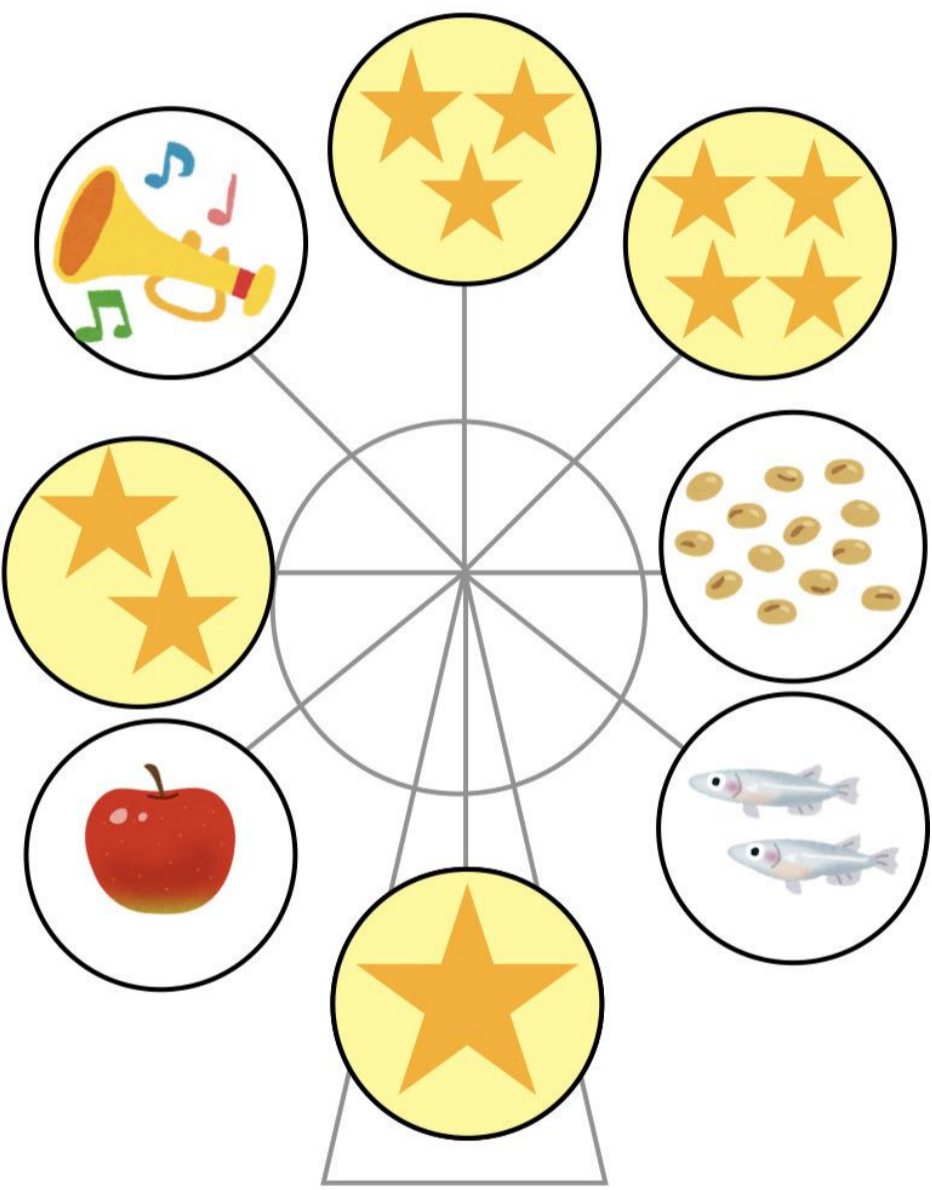


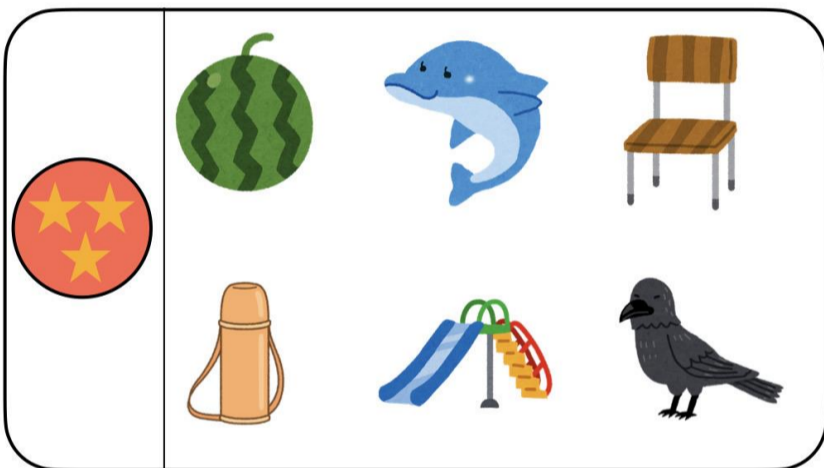
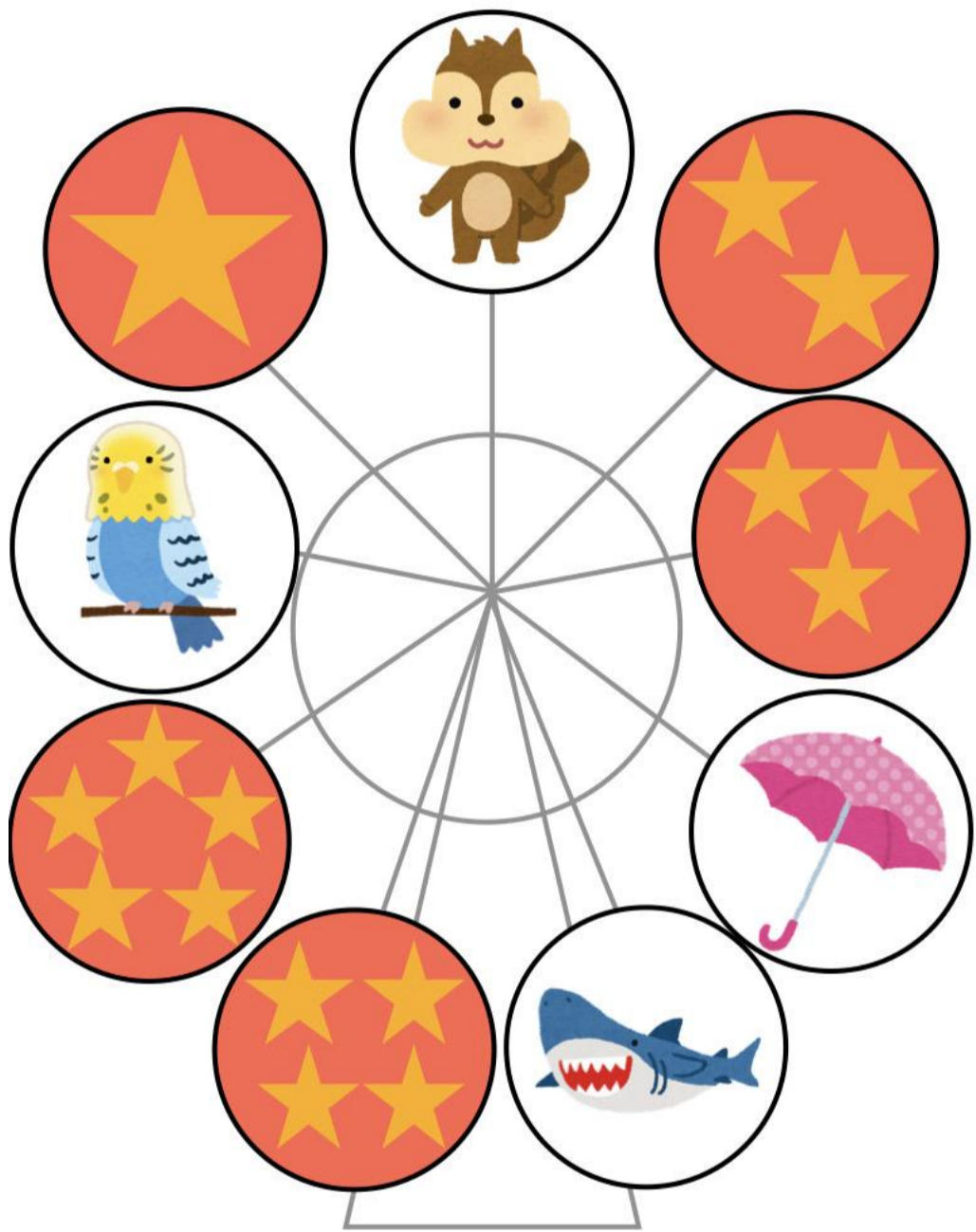
令和5年度  
第1回入学試験

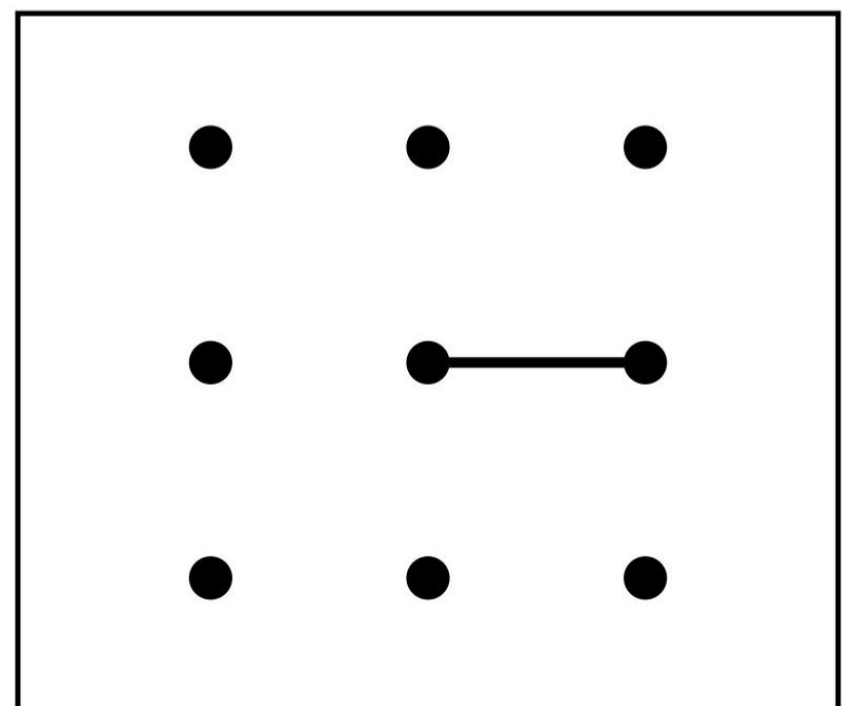
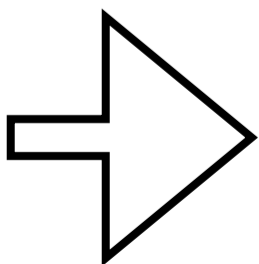
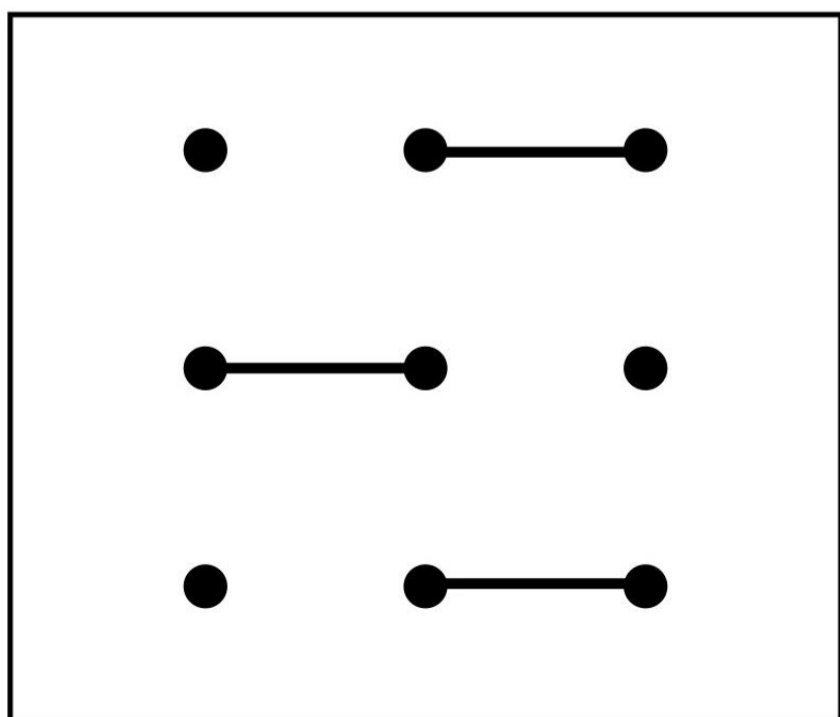
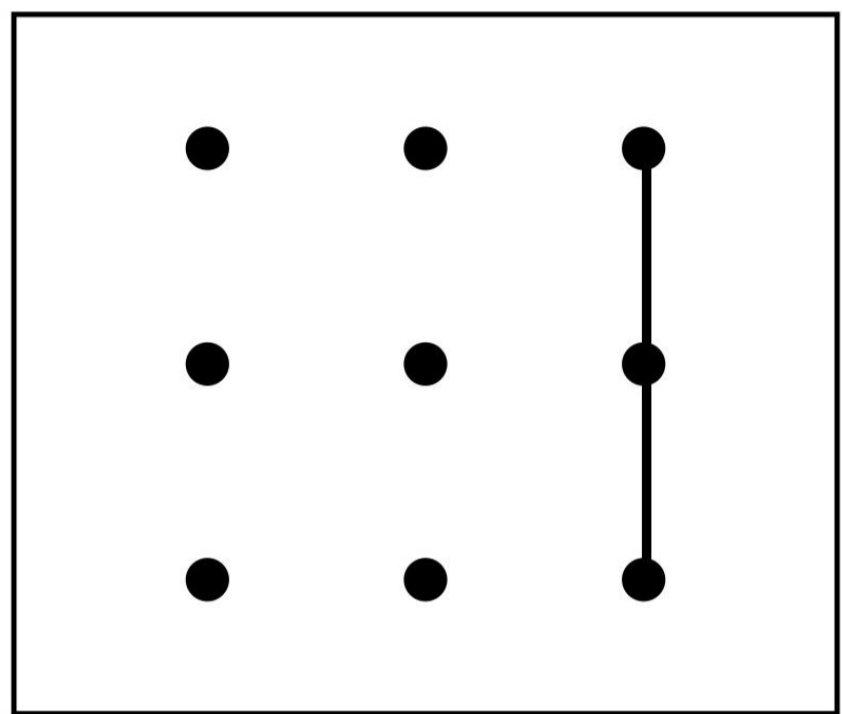
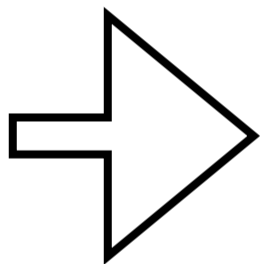
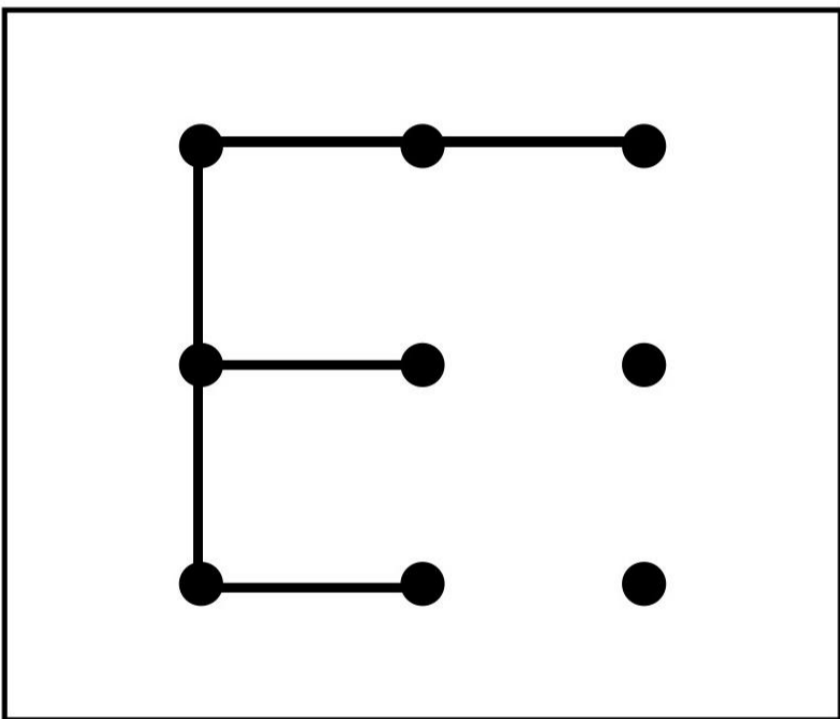
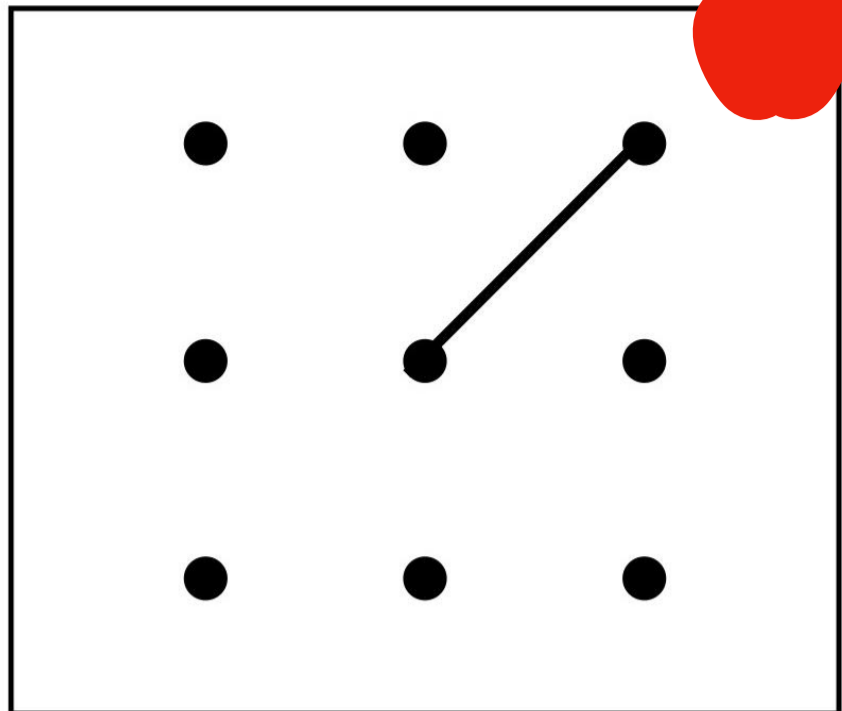
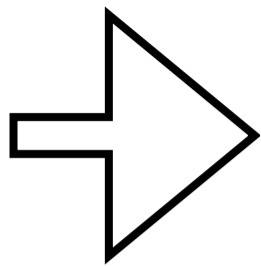
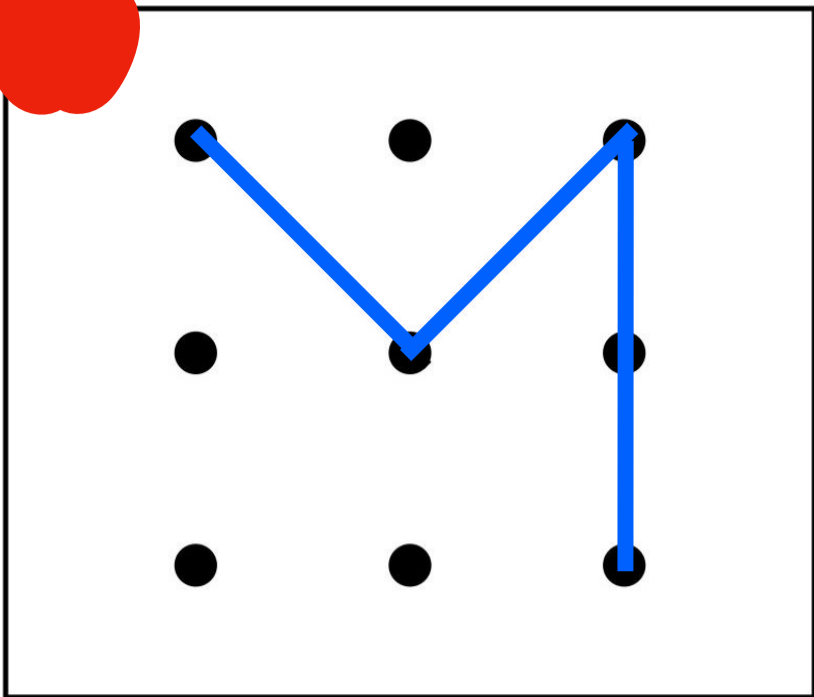
へー、パイーA

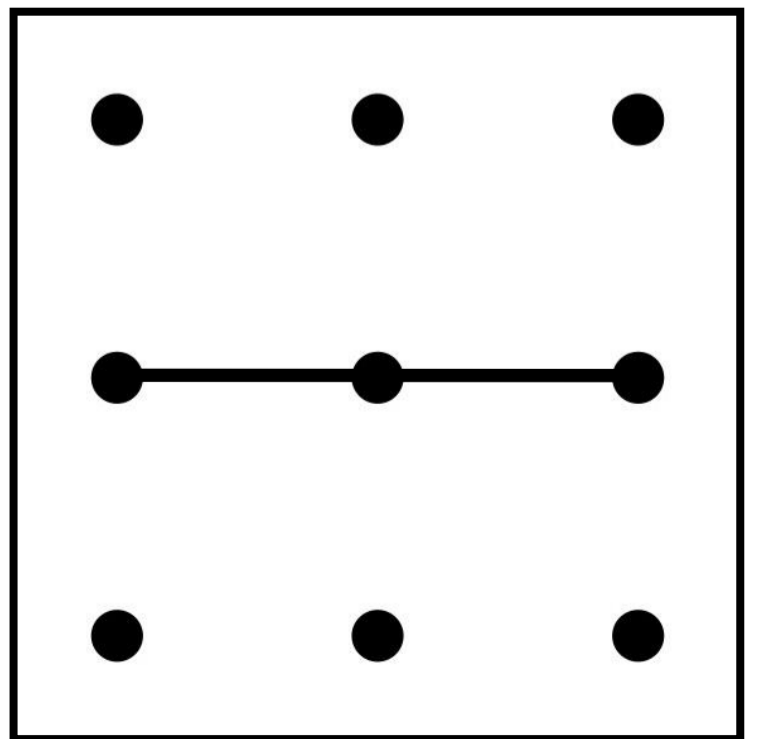
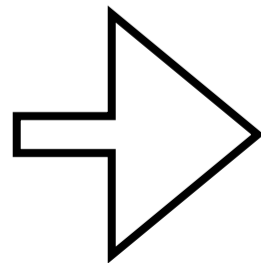
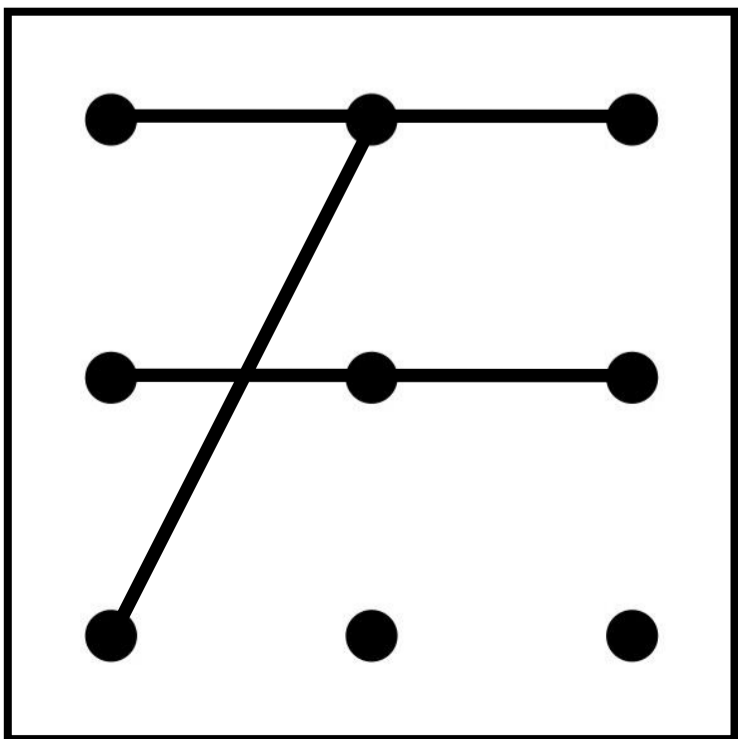
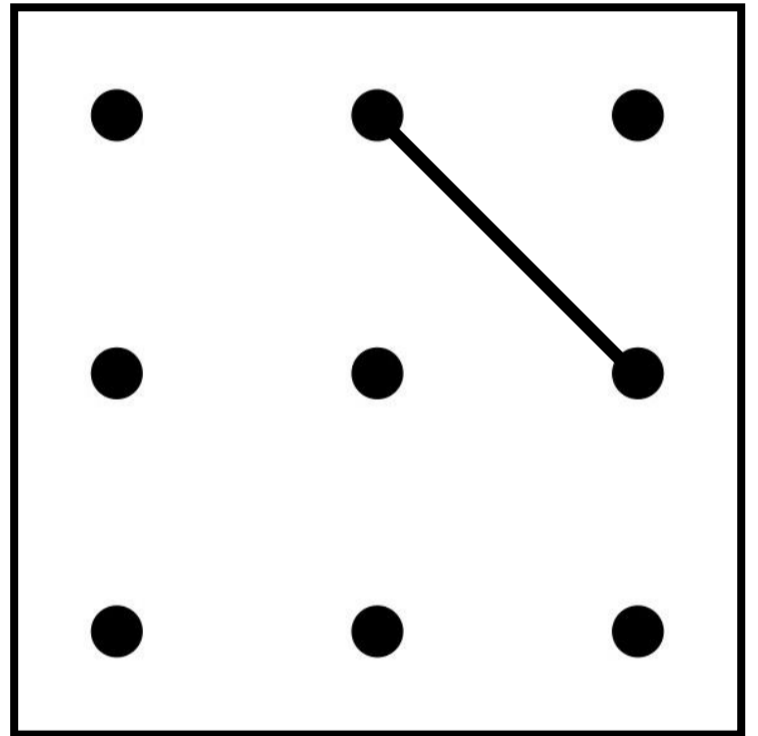
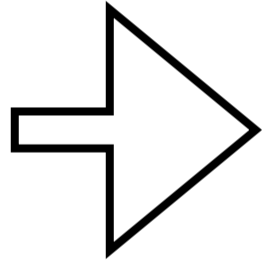
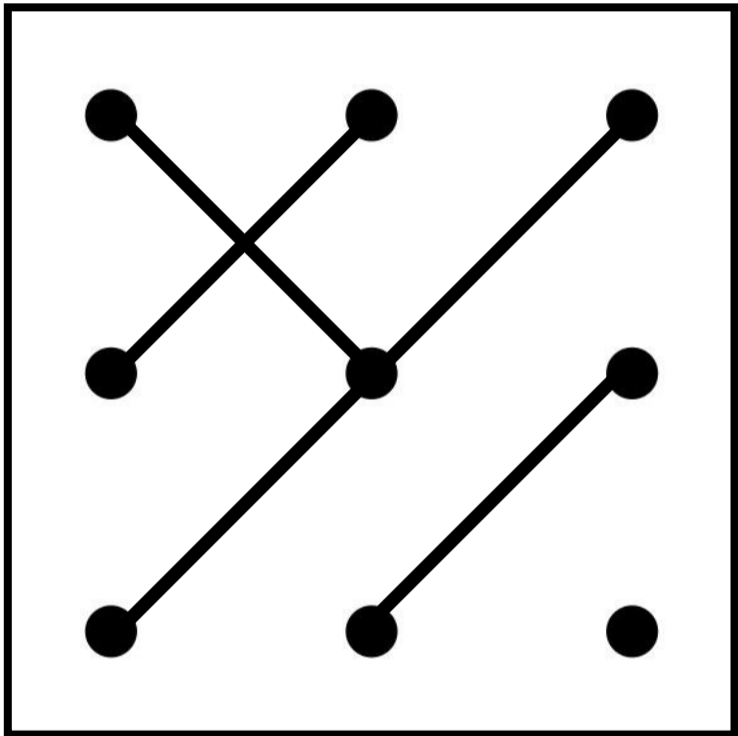
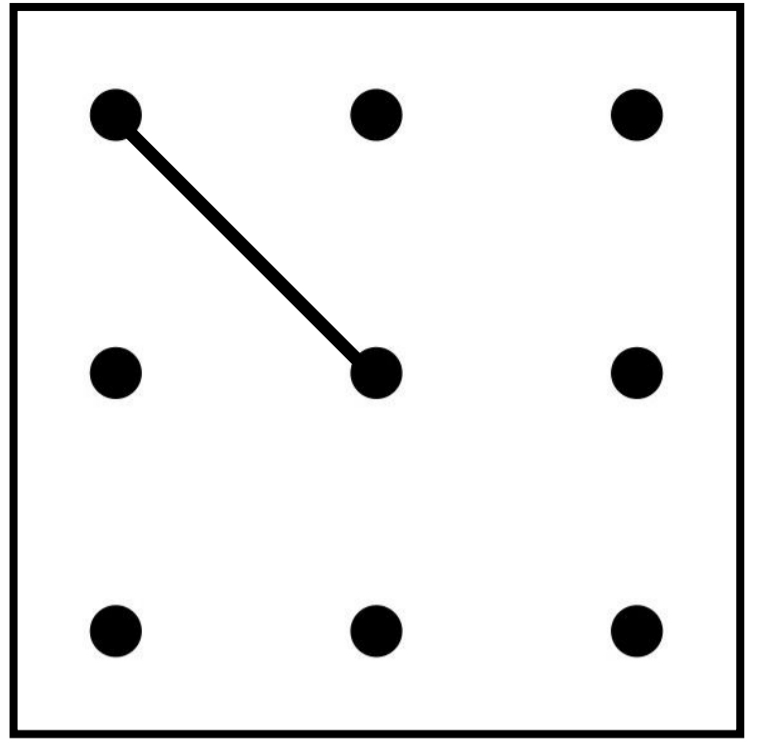
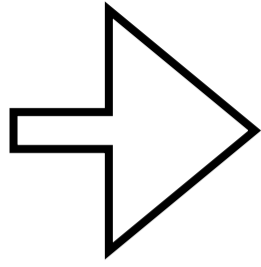
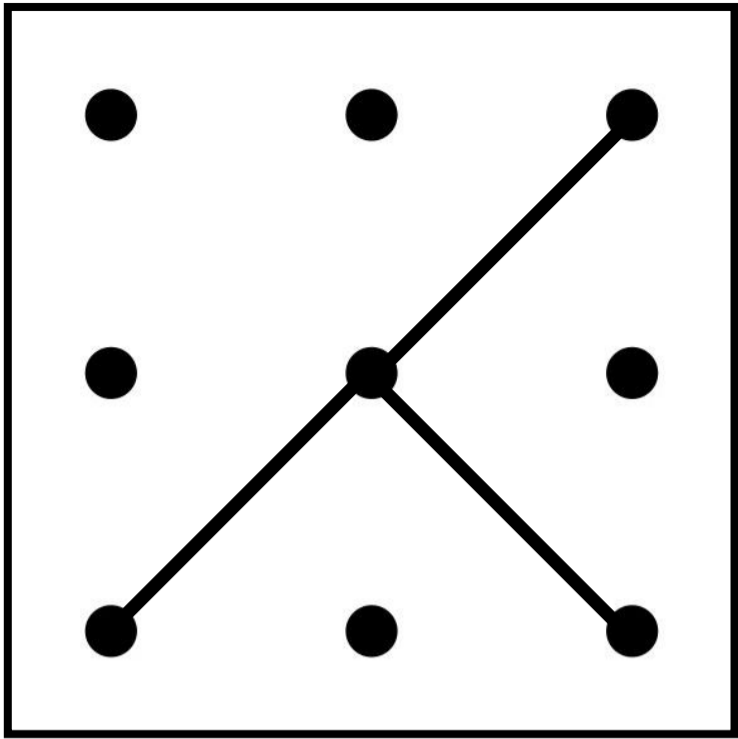




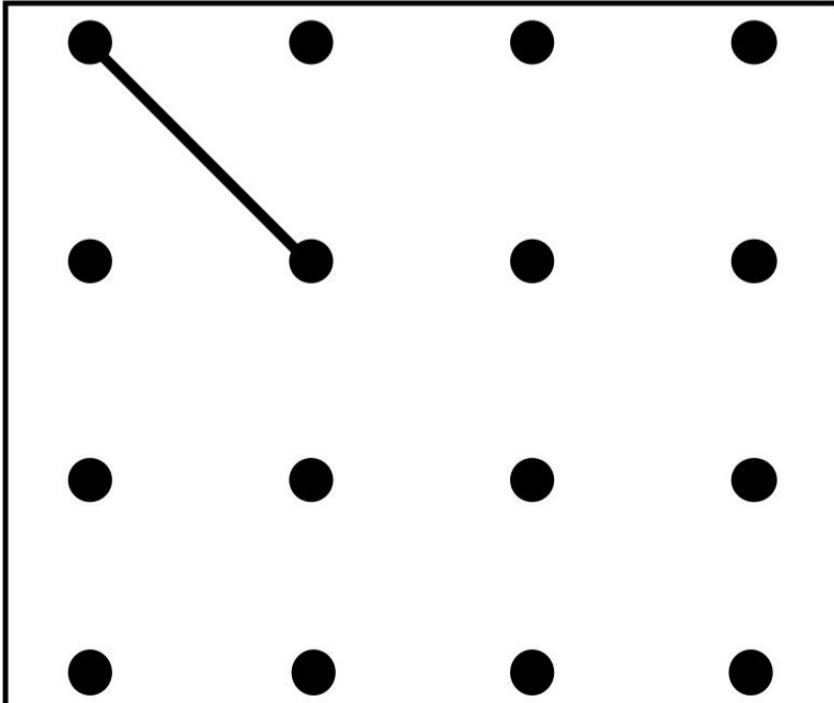
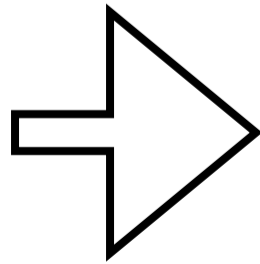
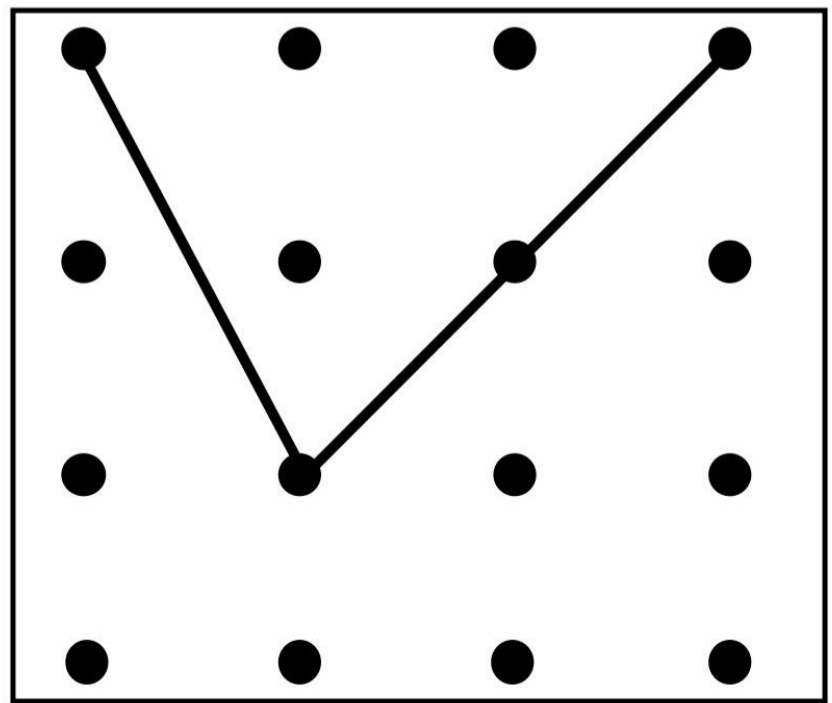
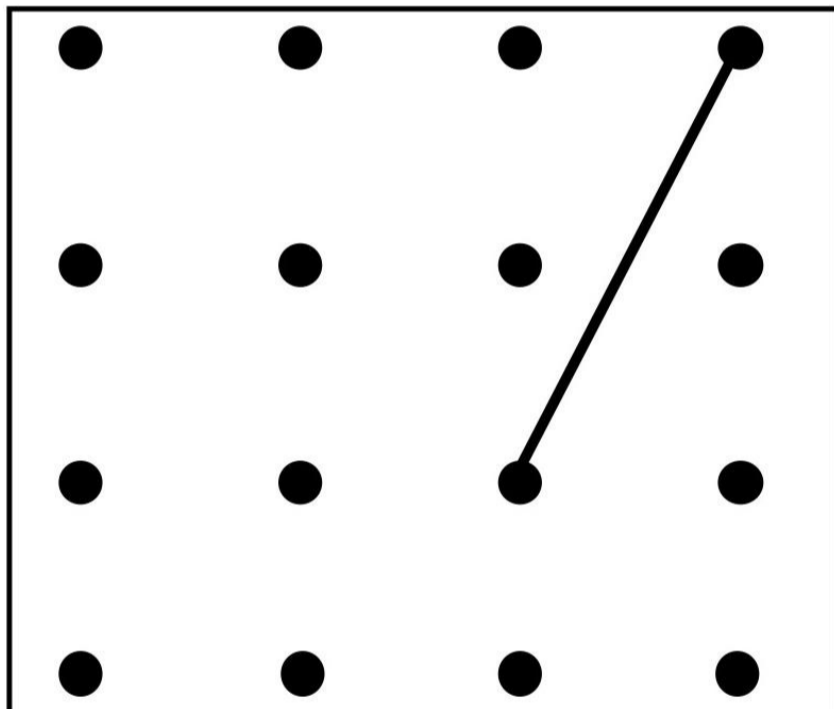
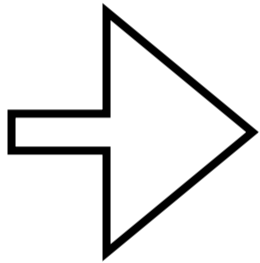
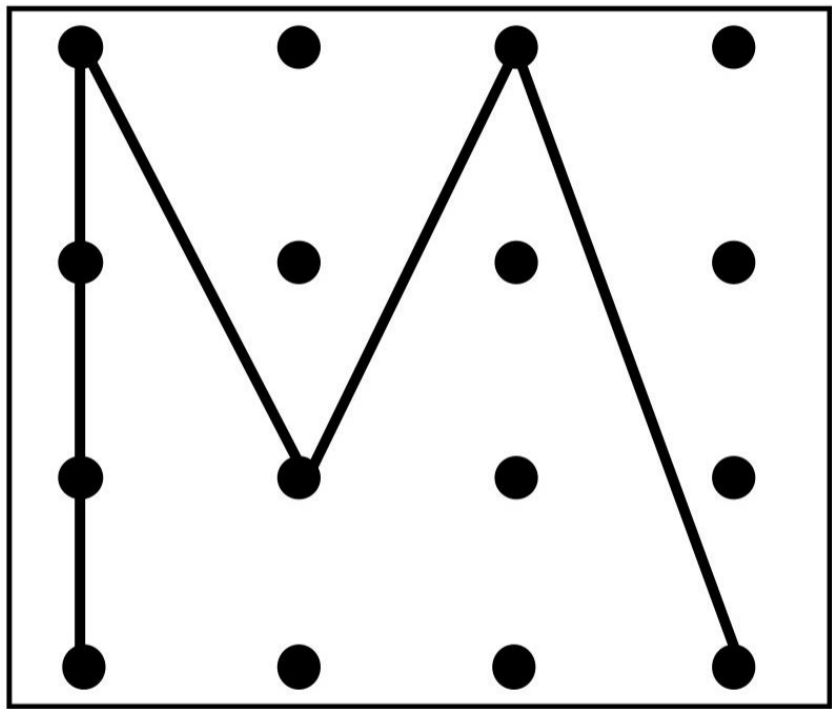
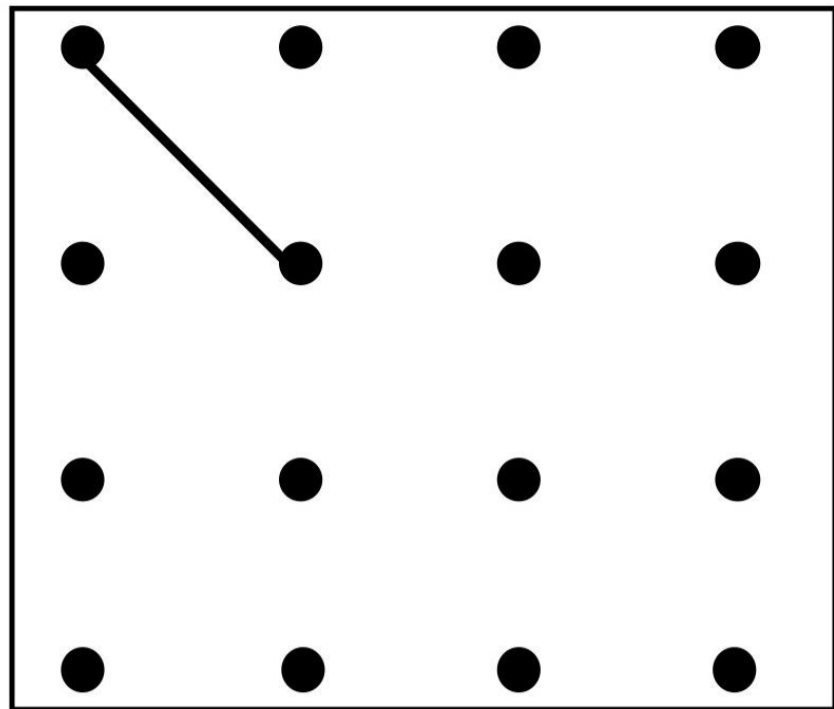
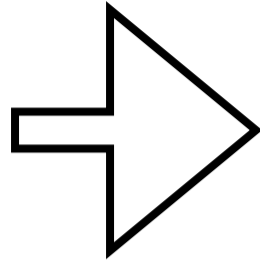
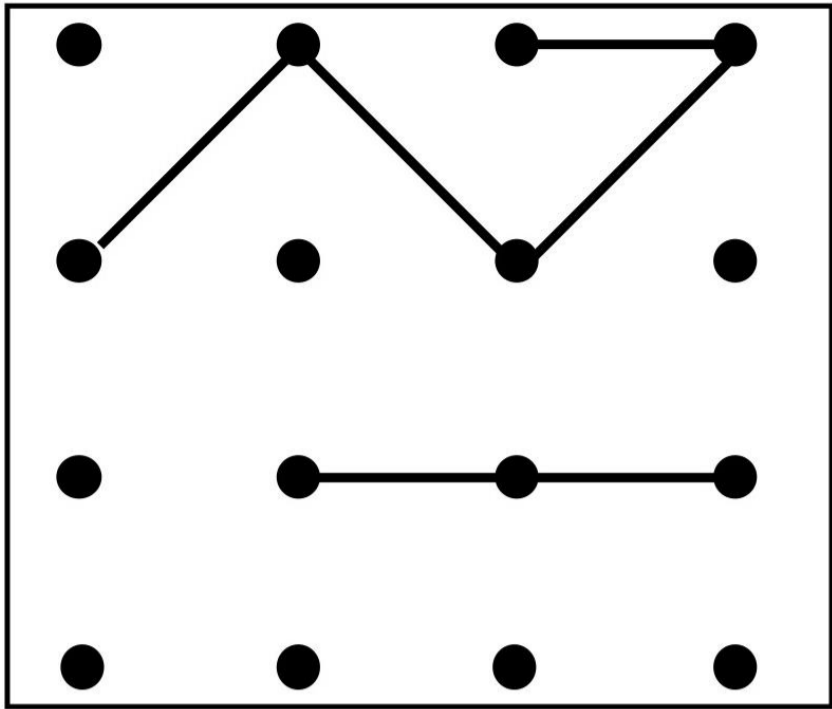


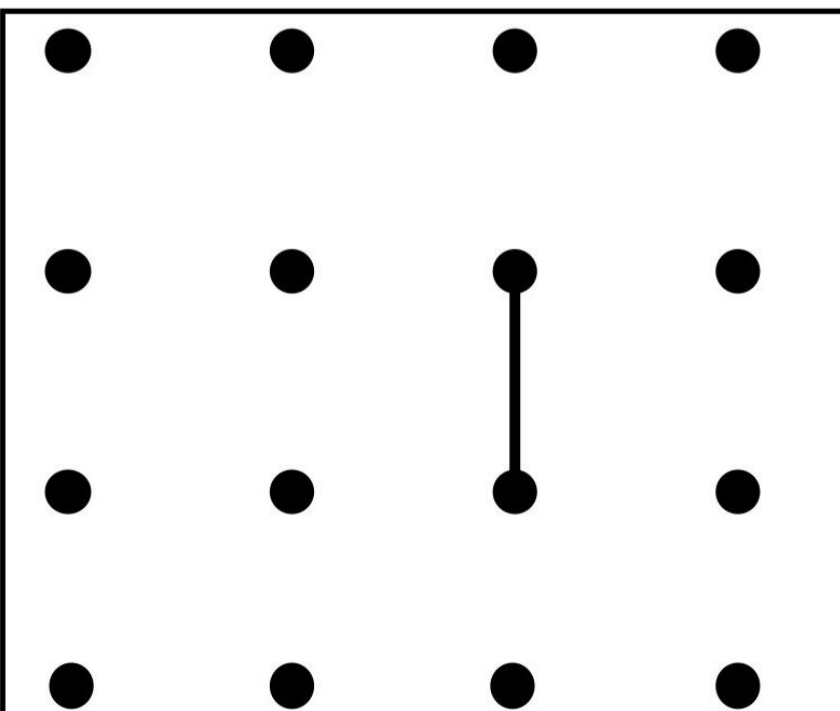
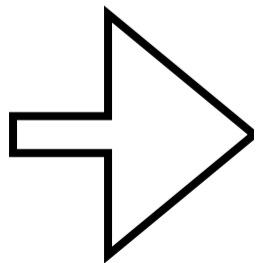
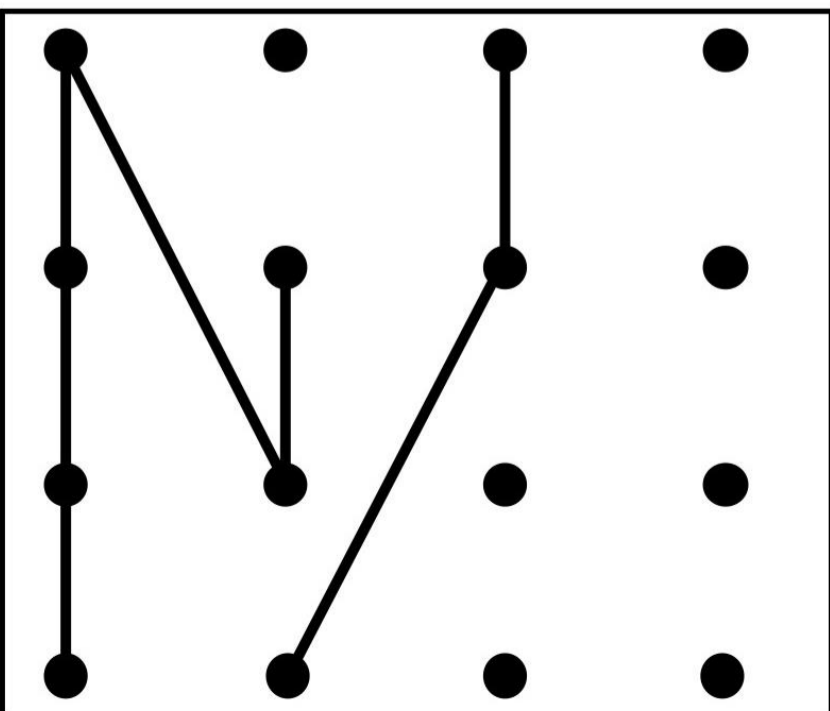
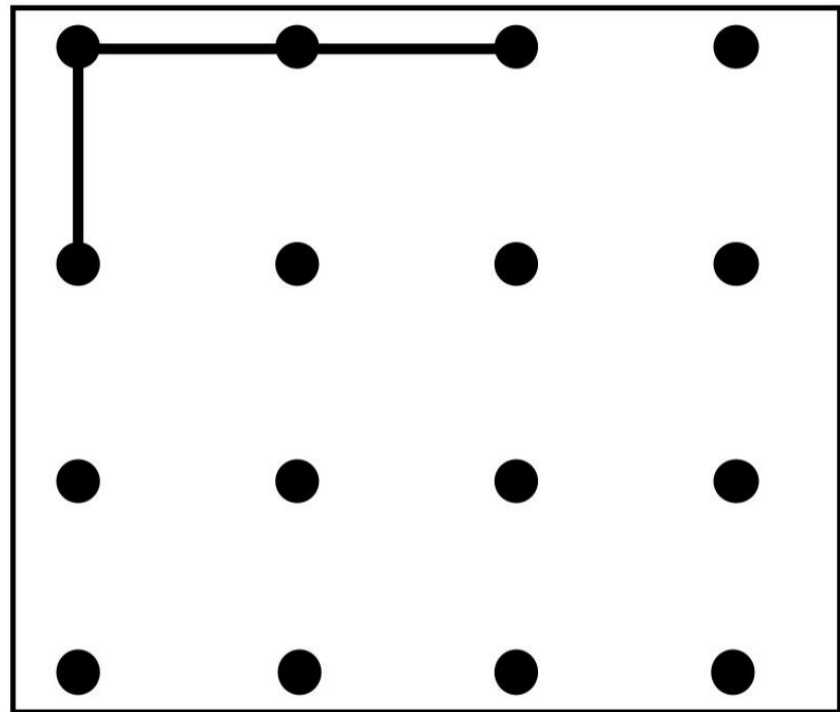
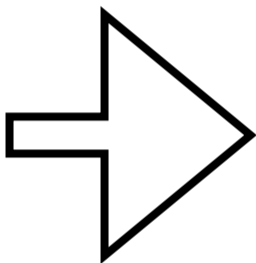
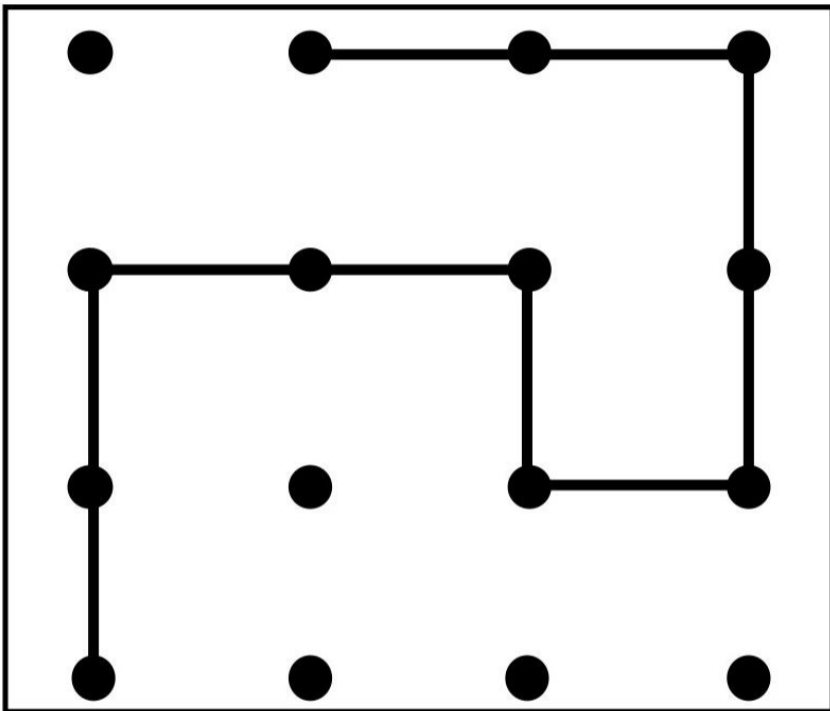
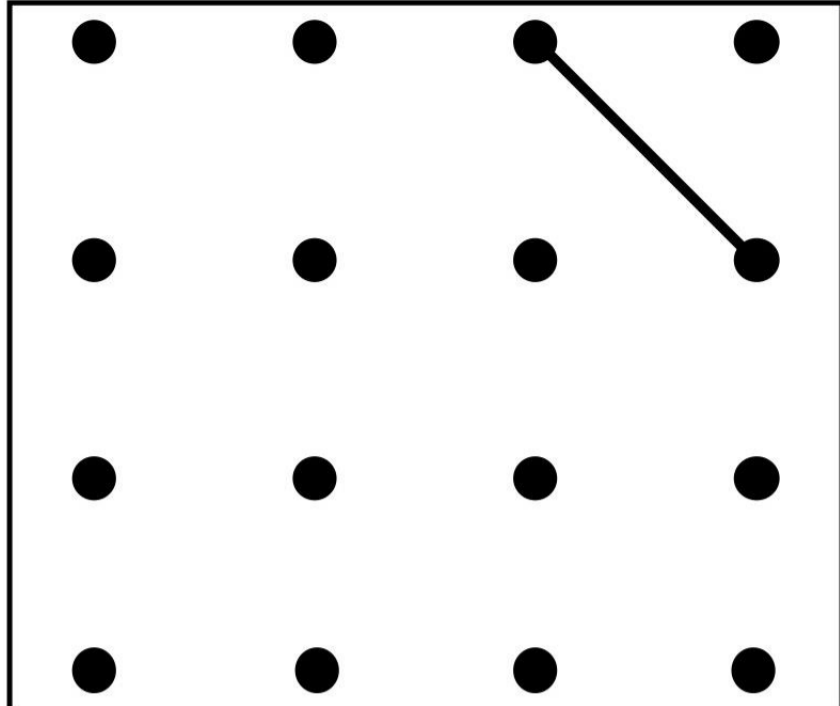
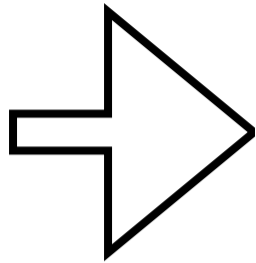
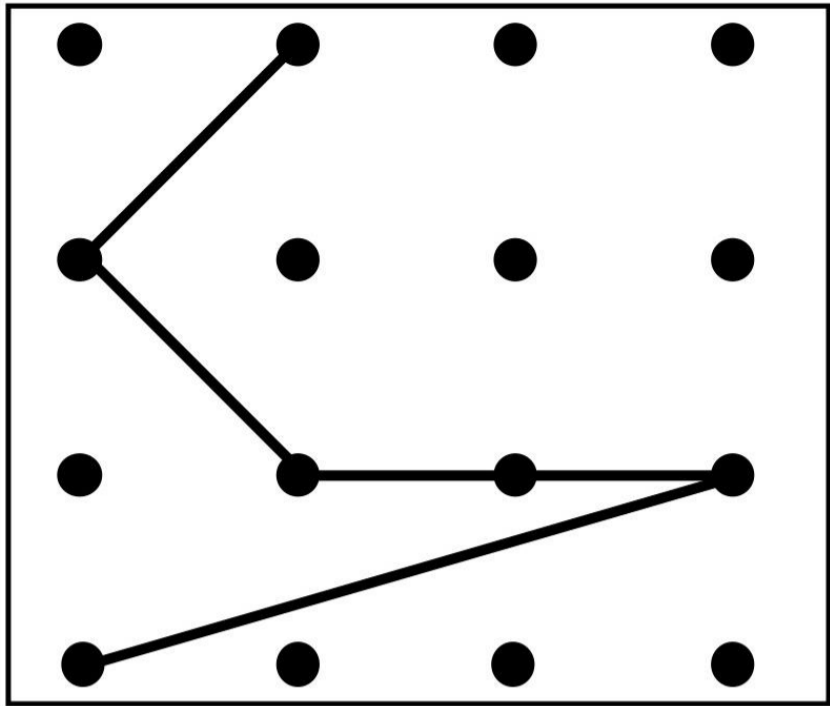


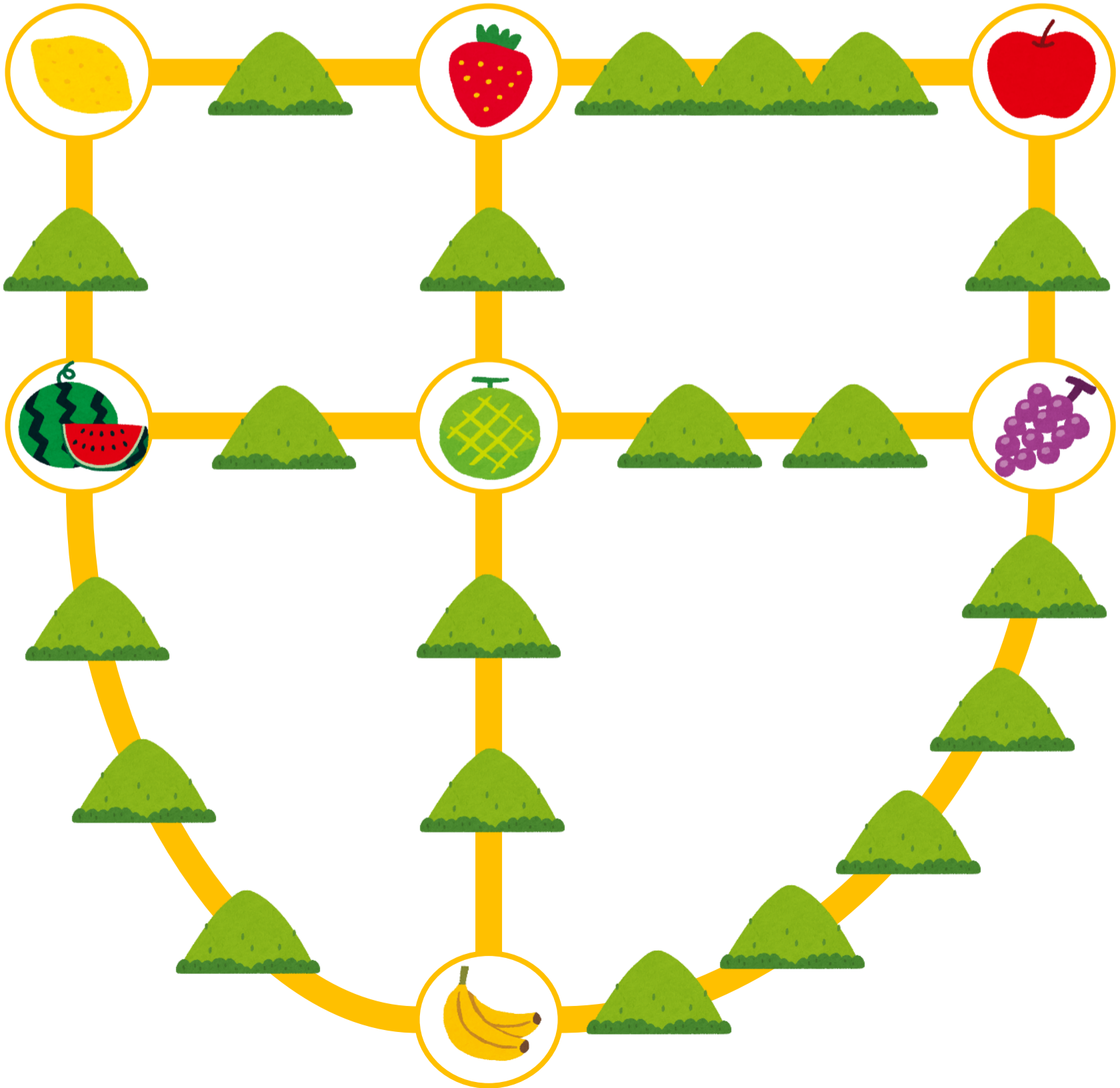



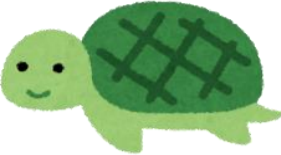






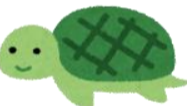



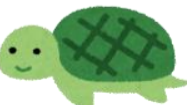





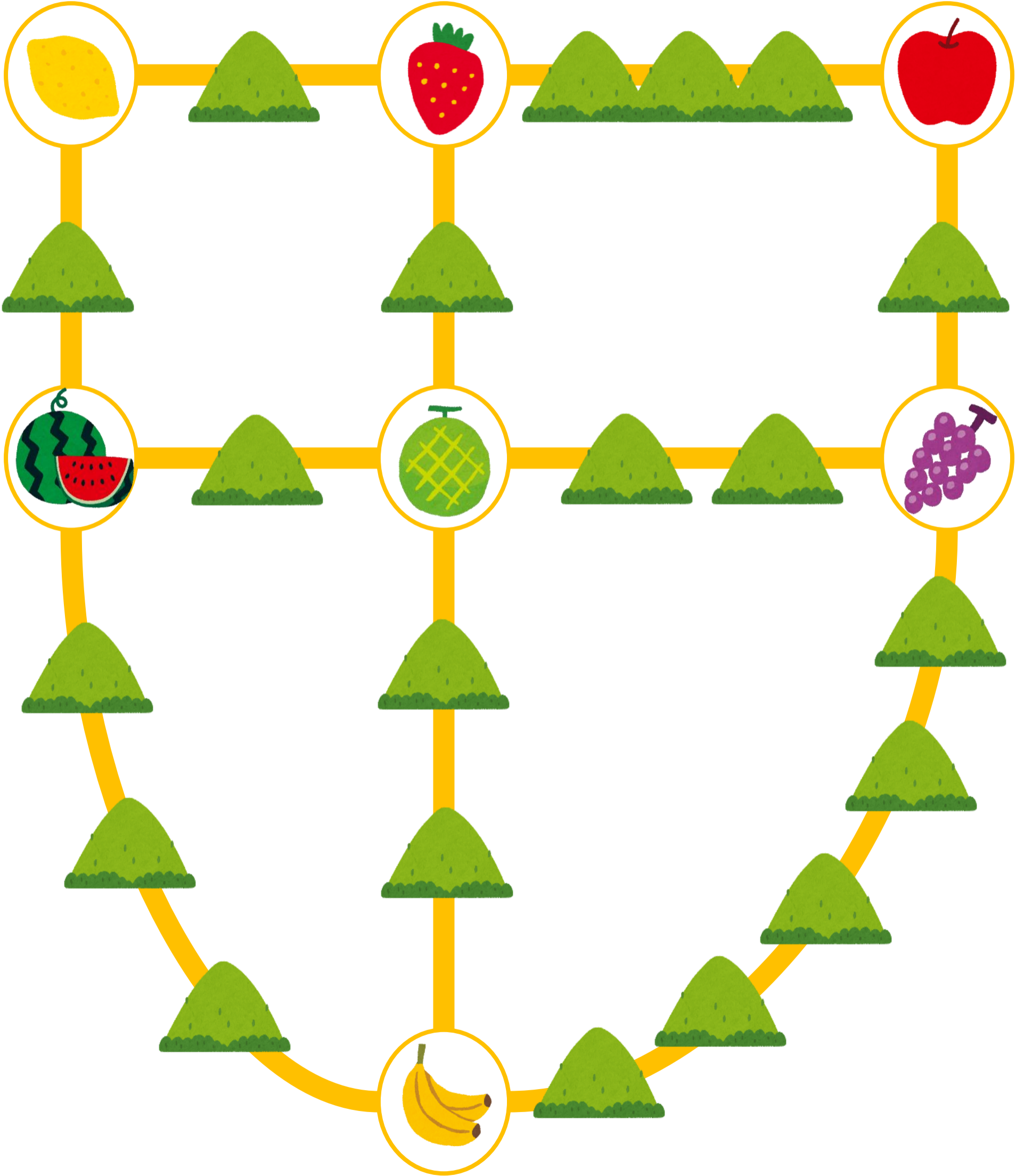


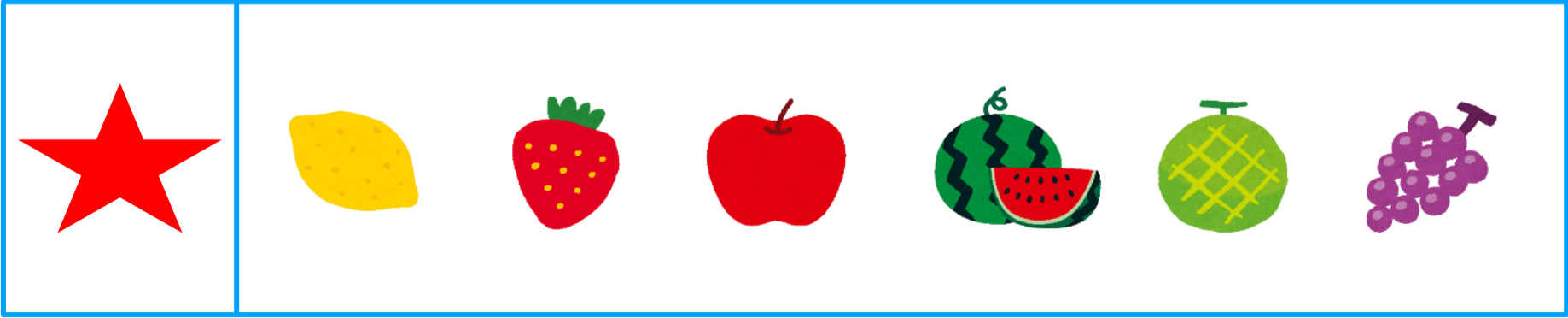
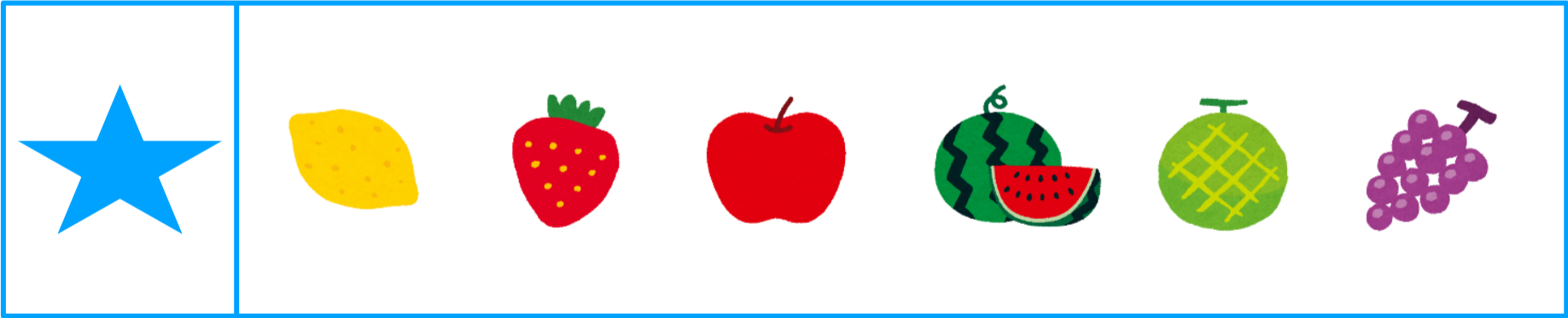
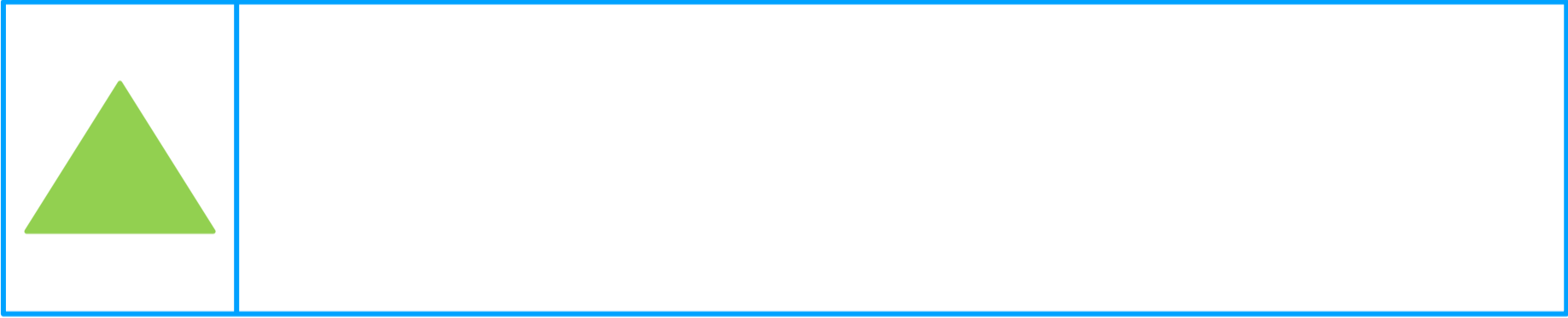
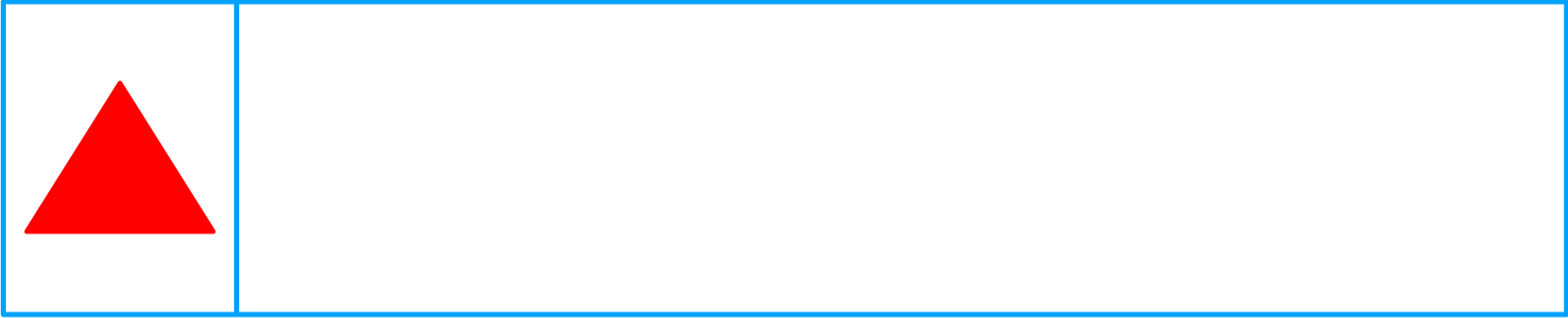
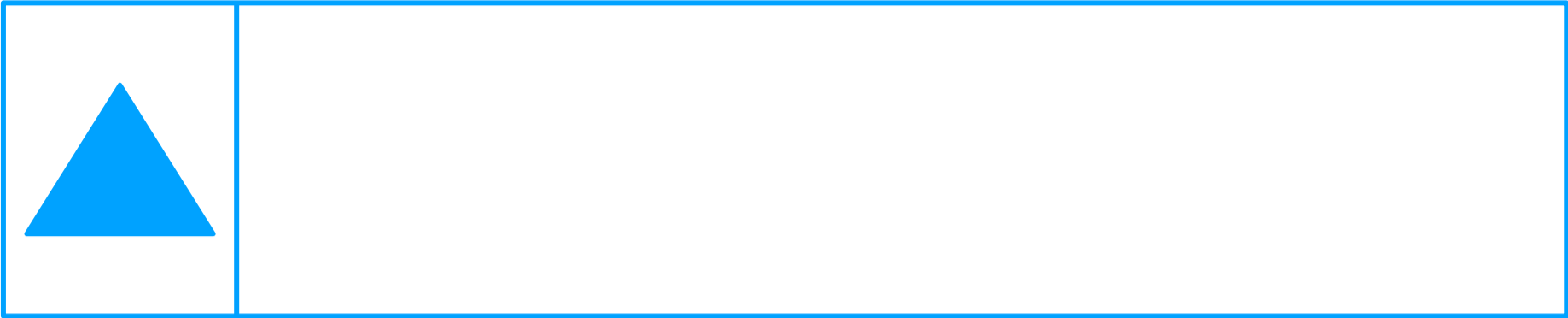








## 「ペーパーA」 発問文

おはようございます(こんにちは)。

このお部屋では、いろいろな問題にチャレンジしてもらいます。問題の説明は一度しかしませんので、よく聞いてください。先生が「はじめてください」といったら、鉛筆をもってはじめてください。先生が「やめてください」といったら、答えるのをやめて鉛筆を置いてください。ページを開いて前の画面を見てください。

これからペーパーAの問題をはじめます。

みなさんは、「しりとり」をしたことがありますか。ここでは「しりとり」にチャレンジしてもらいます。

この観覧車は、しりとり観覧車です。まずは、「こぶた」からスタートします。次は、「た」からはじまる「たぬき」です。そして、つぎは、星マークなので何が入るかわかりません。しかし、つぎを見ると「ねこ」です。「たぬき」と「ねこ」の間に何を入れると、しりとりが続くでしょうか。

同じ星マークの中の四角から選びます。ここでは、「きつね」を選ぶと、「こぶた」「たぬき」「きつね」「ねこ」というように、しりとりを続けることができます。なので、「きつね」に○をつけましょう。間違えて丸をつけた時は、2本の線で消してください。このように「きつね」が入ると、この観覧車しりとりは、きつね、ねこ、こぶた、たぬき、きつねと、しりとりがつづきます。

同じ星のマークの四角の中からどれを選ぶと、しりとりが続くかを考えて、○をつけましょう。

このページと次のページをやります。それでははじめてください。

やめてください。次のページを開いて、前の画面を見てください。

次の問題の説明をします。この問題は、模様を真似して描く問題です。

みなさん鏡を知っていますか。さるが手をあげています。しかし、鏡にうつすと反対の手をあげているさるがみえます。このように、鏡に写ると、あげている手が反対にうつるのです。それでは、ここからがみなさんにやってもらう問題の説明です。

左に描いてある『この模様』をみて、鏡にうつったように、右と左を反対にした模様を描きます。このように右と左が反対に線が描かれます。まずは練習してみましょう。このページのリンゴの問題だけ解いてみましょう。

それでははじめてください。

やめてください。えんぴつを置いてください。

答え合わせをします。右と左が反対になるのでこの線とこの線をひきます。この問題は、間違えても直さずにいてください。

やり方はわかりましたか?問題はこのページとこのページにあります。模様を描く時は、どの黒い丸を通っているかをよく見て、描きましょう。線を描く順番は、どのような順番でも構いません。もし間違えて描いてしまったときは、その問題をとばして、次の問題に進んでください。それでは、はじめてください。

やめてください。次のページを開いて、前の画面を見てください。

ウサギとカメが、おにぎりを持って旅をしています。ウサギはおにぎりを1つ食べると山を1つ越えられます。

しかし、カメは動きがゆっくりなので、おにぎりを2つ食べないと山を1つ越えられません。

それでは練習です。上の地図を見てください。

イチゴ村からリンゴ村までは、山が3つあります。このとき、イチゴ村からリンゴ村まで行くには、ウサギとカメはそれぞれおにぎりを何個食べればよいでしょうか。必要なおにぎりの数を考え、その数だけ右の四角に○を描きましょう。

では、始めてください。

やめてください。では、答え合わせをしてみましょう。

ウサギは山をひとつ越えるのに、おにぎりが1つ必要でした。だから、山を3つ越えるには、おにぎりが3個必要です。

カメは山をひとつ越えるのに、おにぎりが2つ必要でした。だから、山を3つ越えるには、おにぎりが6個必要です。

ですから右の四角の中には、ウサギには3こ、カメには6こ、○を描いてあげれば正解です。

間違えて丸を付けたときは、2本の線で消してください。

それでは問題です。下の地図を見てください。

この地図は、レモン村、イチゴ村、リンゴ村、スイカ村、メロン村、ブドウ村、バナナ村の地図です。それぞれの村に行くには、途中に描いてある数だけ山を越えなければいけません。このとき、ウサギとカメが矢印の左の村から右の村に行くのにはいろいろな行き方がありますが、一番少ないおにぎりの数でいけるようにするには、おにぎりは何個必要ですか。それぞれの問題で必要なおにぎりの数を考え、その数だけ右の四角に○を描きましょう。では、始めてください。

やめてください。次のページをめくってください。

次のページの問題を説明します。この地図は、先ほどの地図と同じものです。

ここでは、問題を1つずつ説明し、1つずつ答えてもらいます。それでは問題です。

①青い三角の問題です。

ウサギが、メロン村にいます。そこからイチゴ村、リンゴ村と旅をします。このとき、おにぎりは何個必要ですか？必要な数だけ、四角の中に○を描きましょう。では、始めてください。

やめてください。

②赤い三角の問題です。

カメが、スイカ村にいます。そこからメロン村、ブドウ村、リンゴ村と旅をします。このとき、おにぎりは何個必要ですか？必要な数だけ、四角の中に○を描きましょう。では、始めてください。

やめてください。

③緑の三角の問題です。

ウサギが、リンゴ村にいます。そこからイチゴ村、メロン村、と旅をしますが、ウサギがブドウ村、メロン村と旅をするときよりも何個多くのおにぎりが必要ですか？その数だけ、四角の中に○を描きましょう。では、始めてください。

やめてください。

④青い星の問題です。

ウサギがおにぎりを4個持ってバナナ村にいます。そこから旅に出発するとき、行くことのできる村はどれですか？行くことのできる村すべてに○を描きましょう。では、始めてください。

やめてください。

⑤赤い星の問題です。

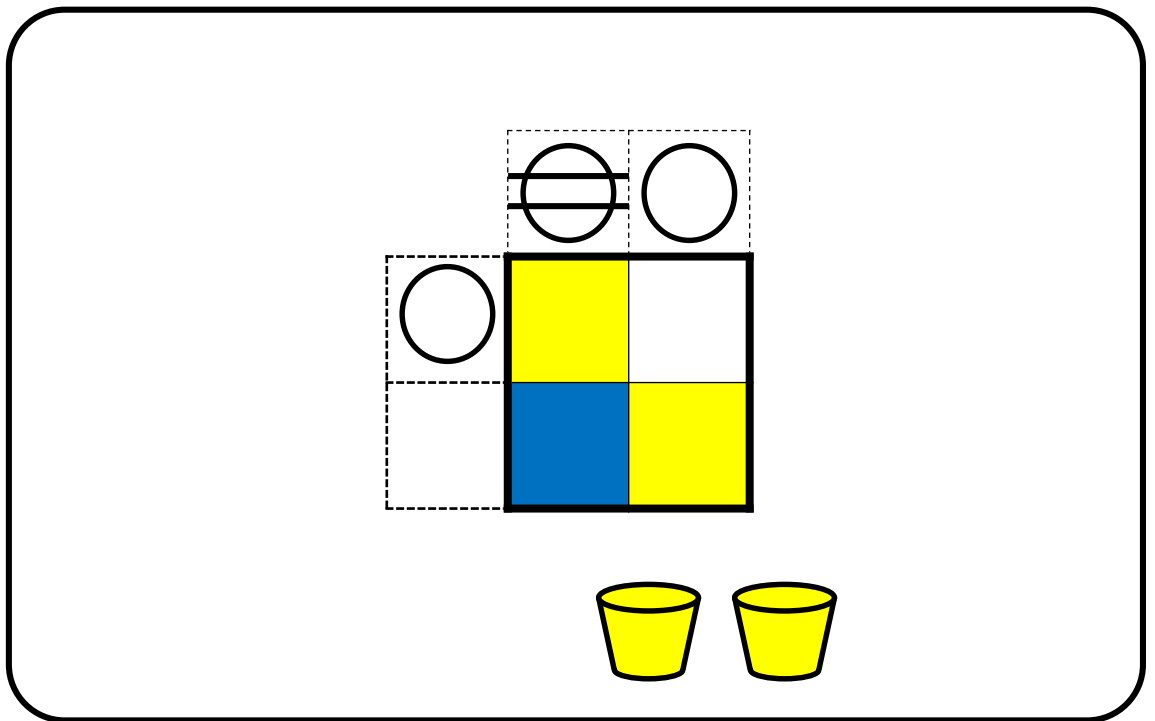
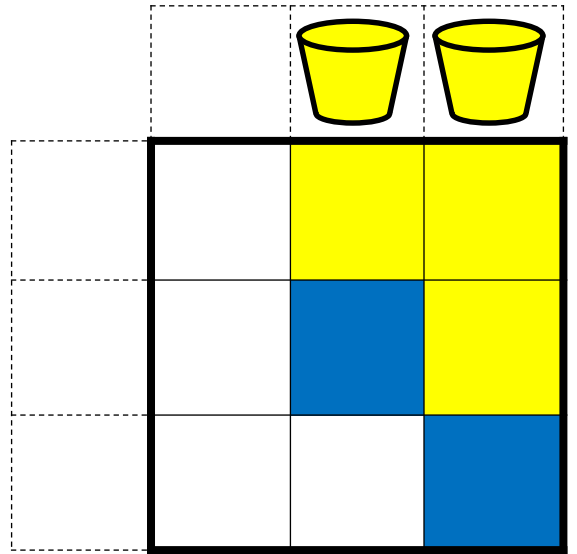
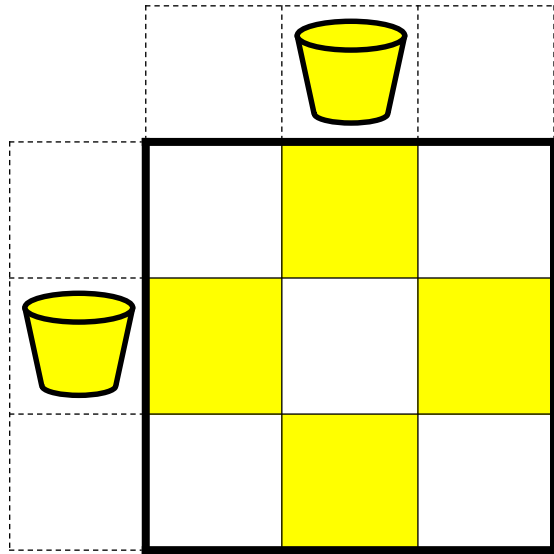
カメがおにぎりを9個持ってバナナ村にいます。そこから旅に出発するとき、行くことのできる村はどれですか？行くことのできる村すべてに○を描きましょう。では、始めてください。

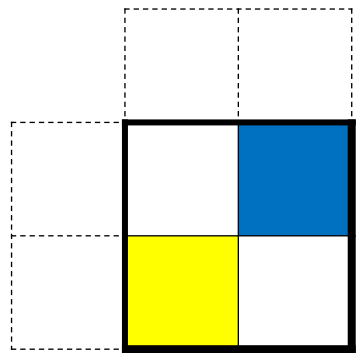
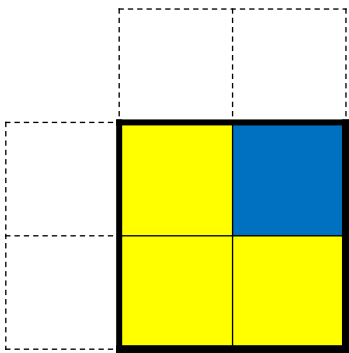
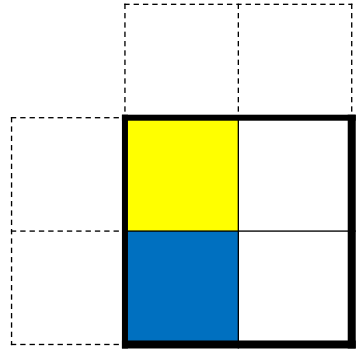
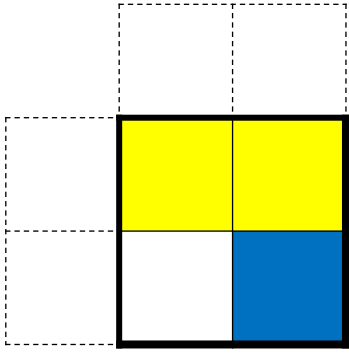
やめてください。

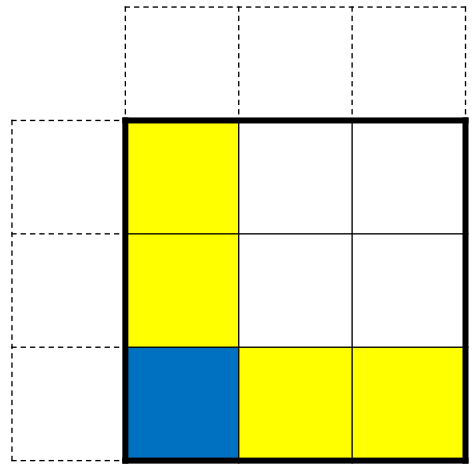
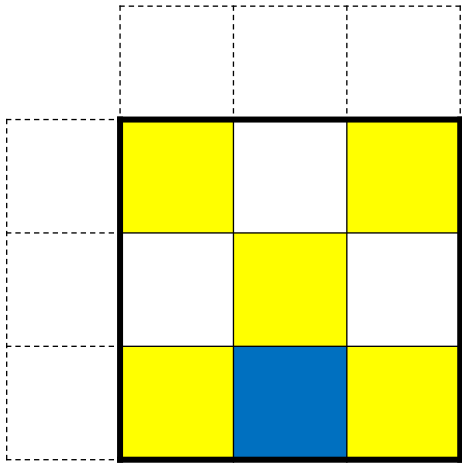
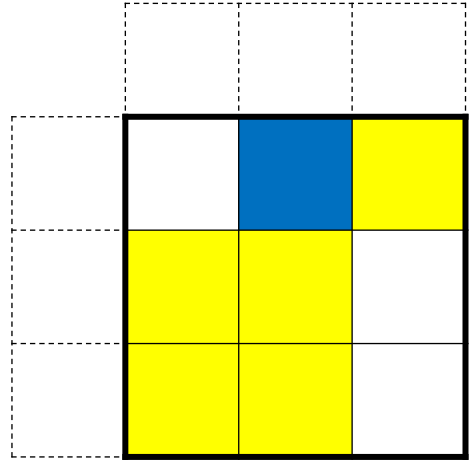
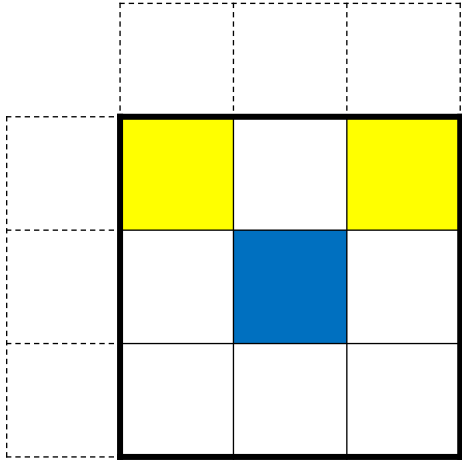
ペーパーAの問題はこれでおしまいです。

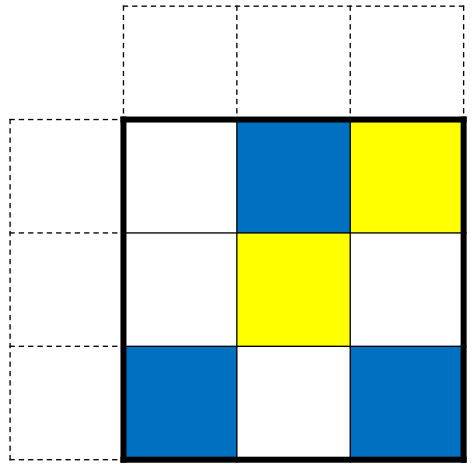
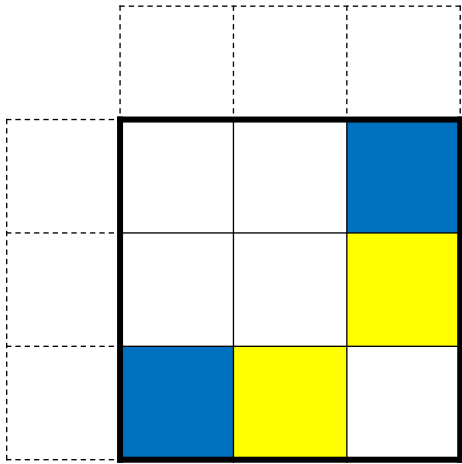
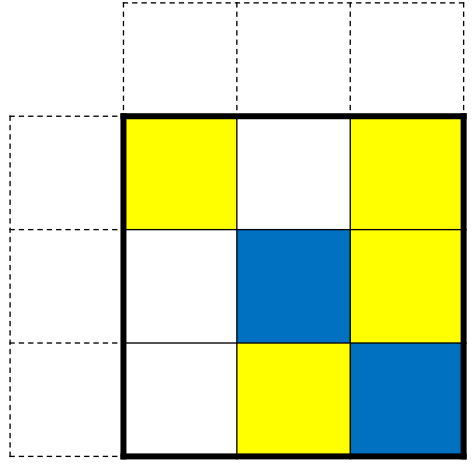
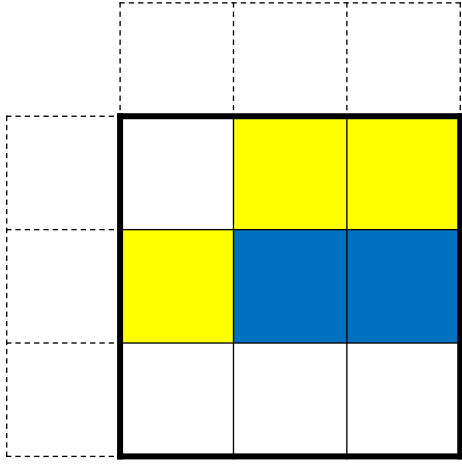


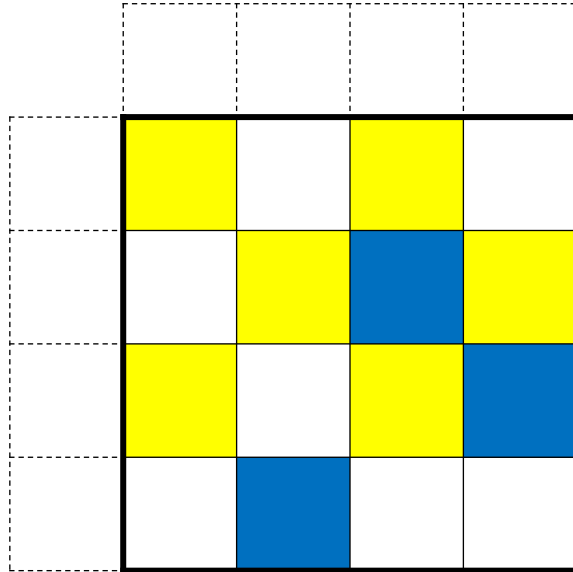
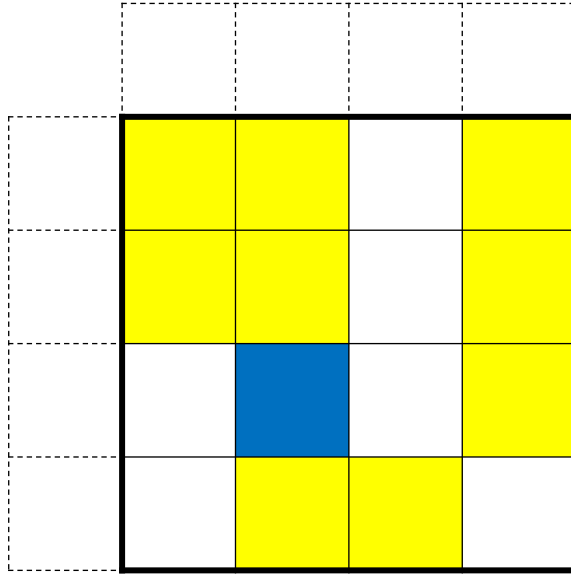
ペーパーパーB

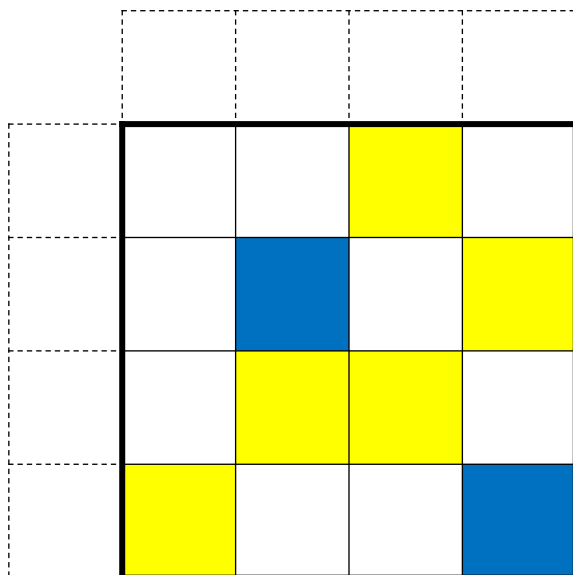
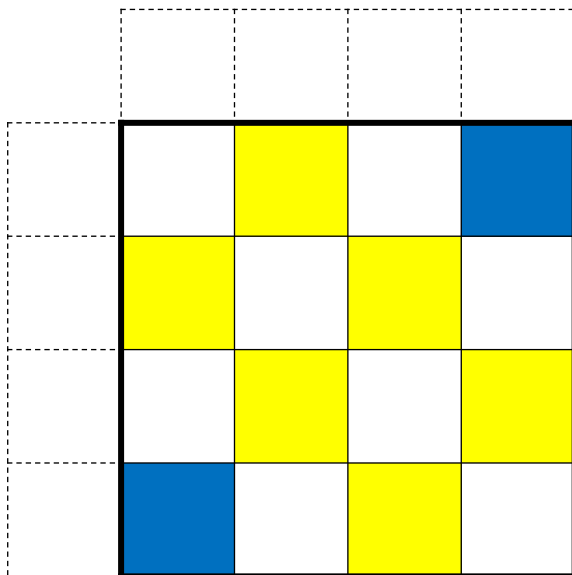


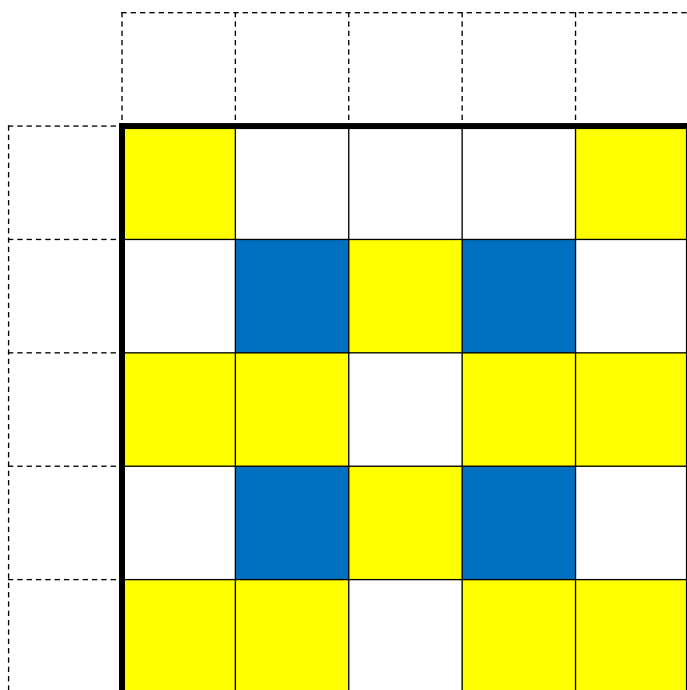




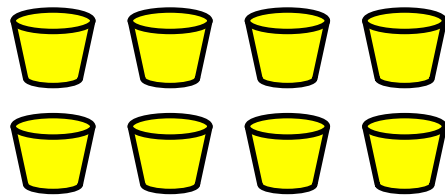
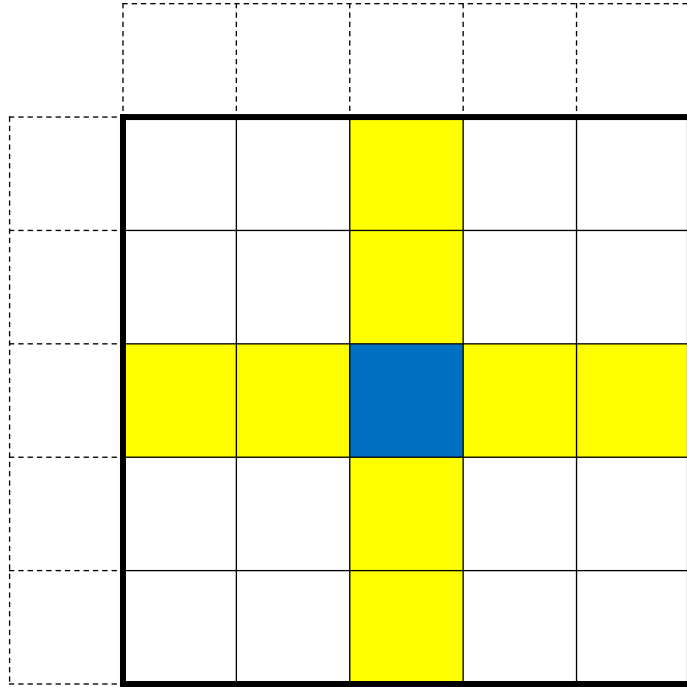


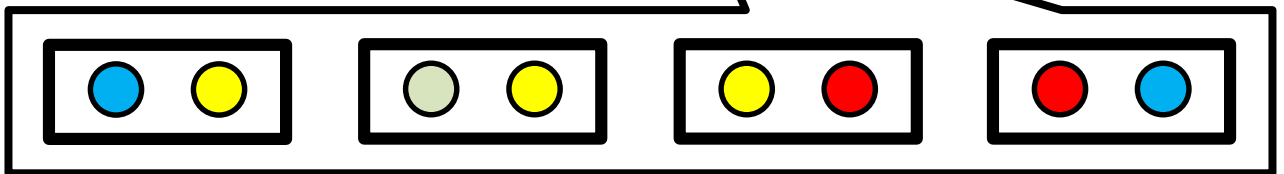
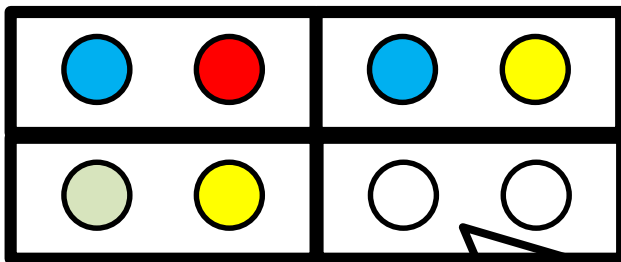
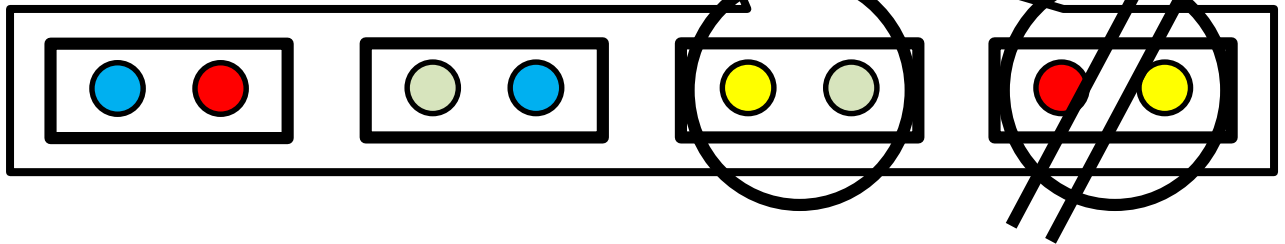
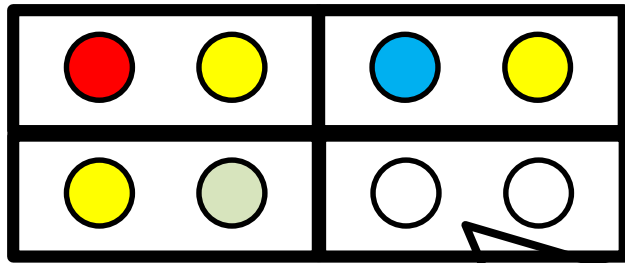


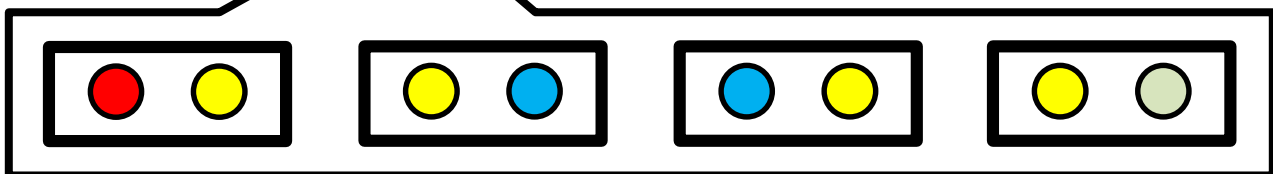
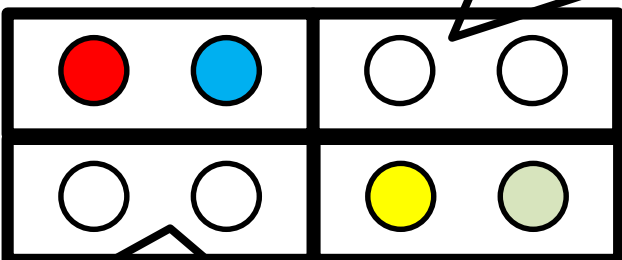
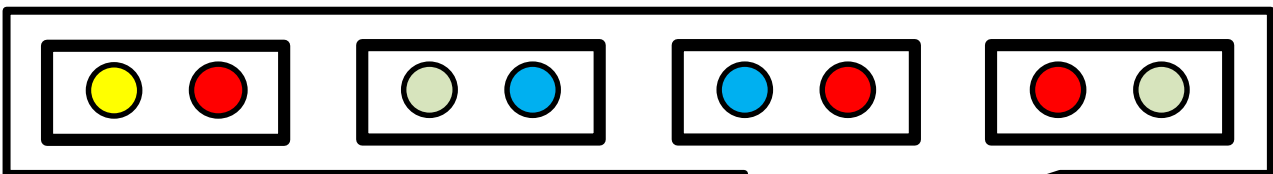
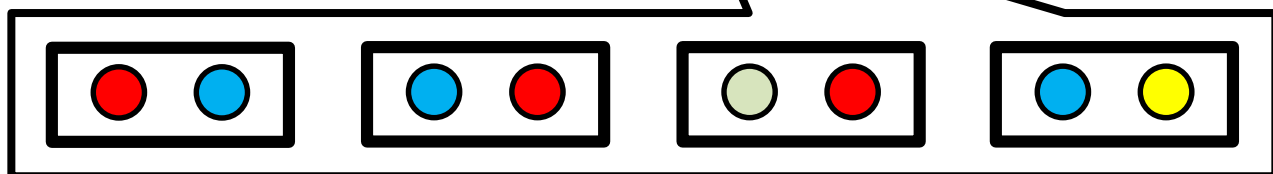
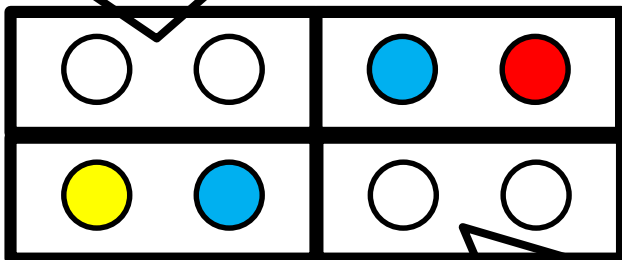
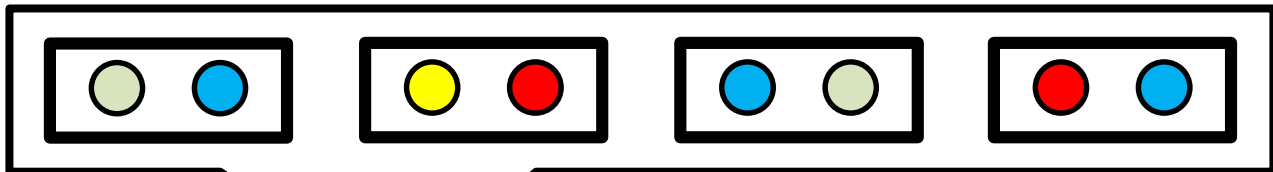


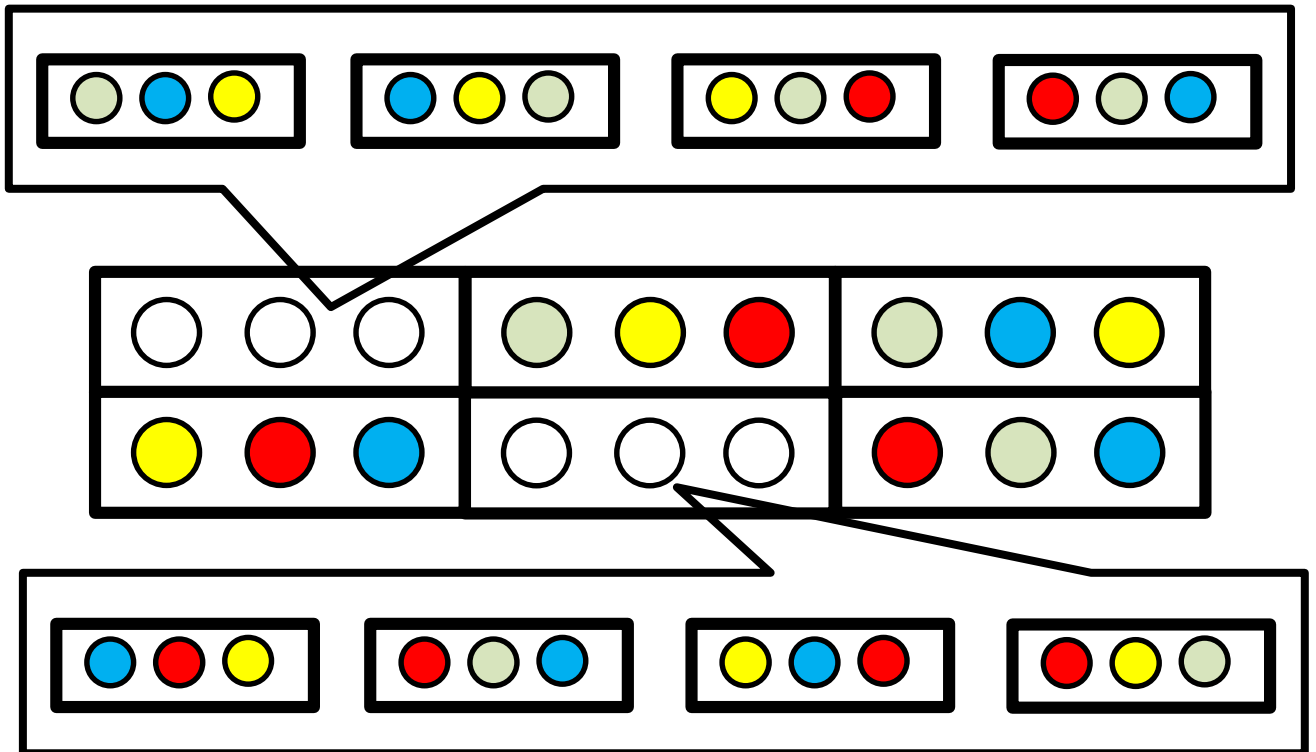
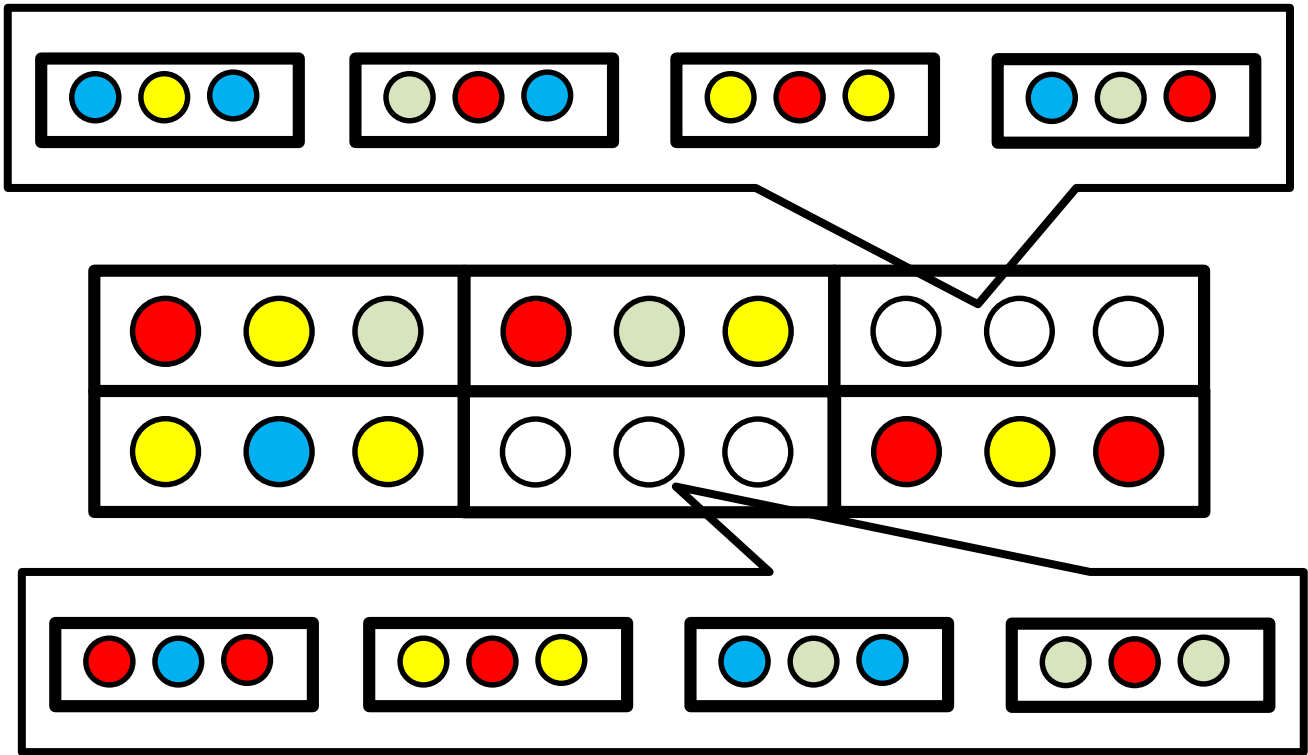


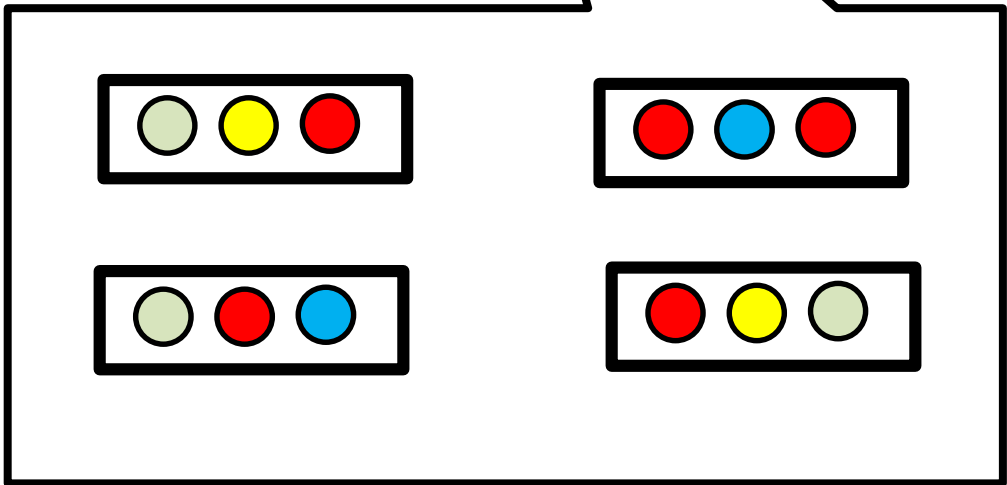
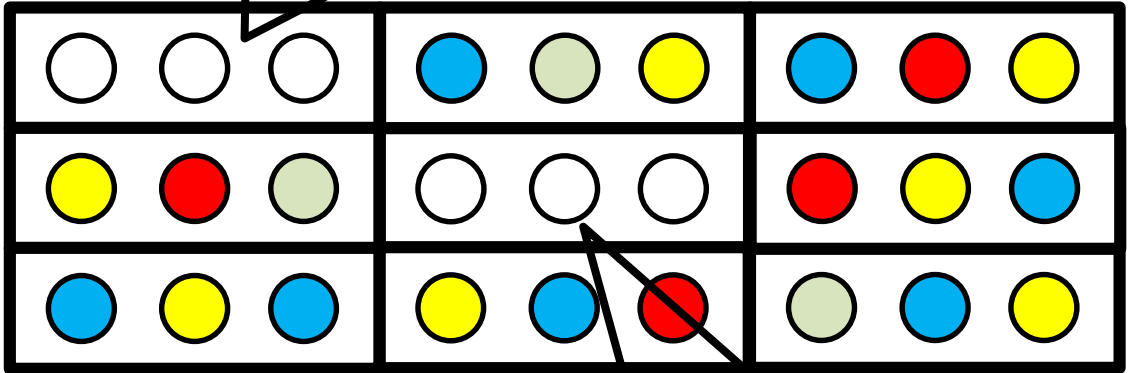
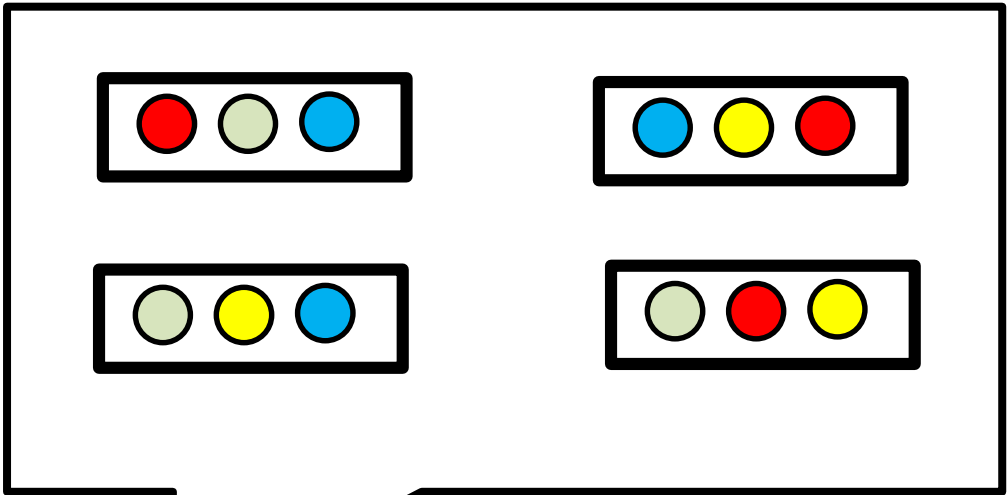














<table border="1"><tr><td>Red</td><td>Yellow</td></tr><tr><td>Yellow</td><td>Blue</td></tr></table>	Red	Yellow	Yellow	Blue	<table border="1"><tr><td>White</td><td>White</td></tr><tr><td>White</td><td>White</td></tr></table>	White	White	White	White
Red	Yellow								
Yellow	Blue								
White	White								
White	White								
<table border="1"><tr><td>Blue</td><td>Red</td></tr><tr><td>Red</td><td>Blue</td></tr></table>	Blue	Red	Red	Blue	<table border="1"><tr><td>Yellow</td><td>Red</td></tr><tr><td>Red</td><td>Yellow</td></tr></table>	Yellow	Red	Red	Yellow
Blue	Red								
Red	Blue								
Yellow	Red								
Red	Yellow								

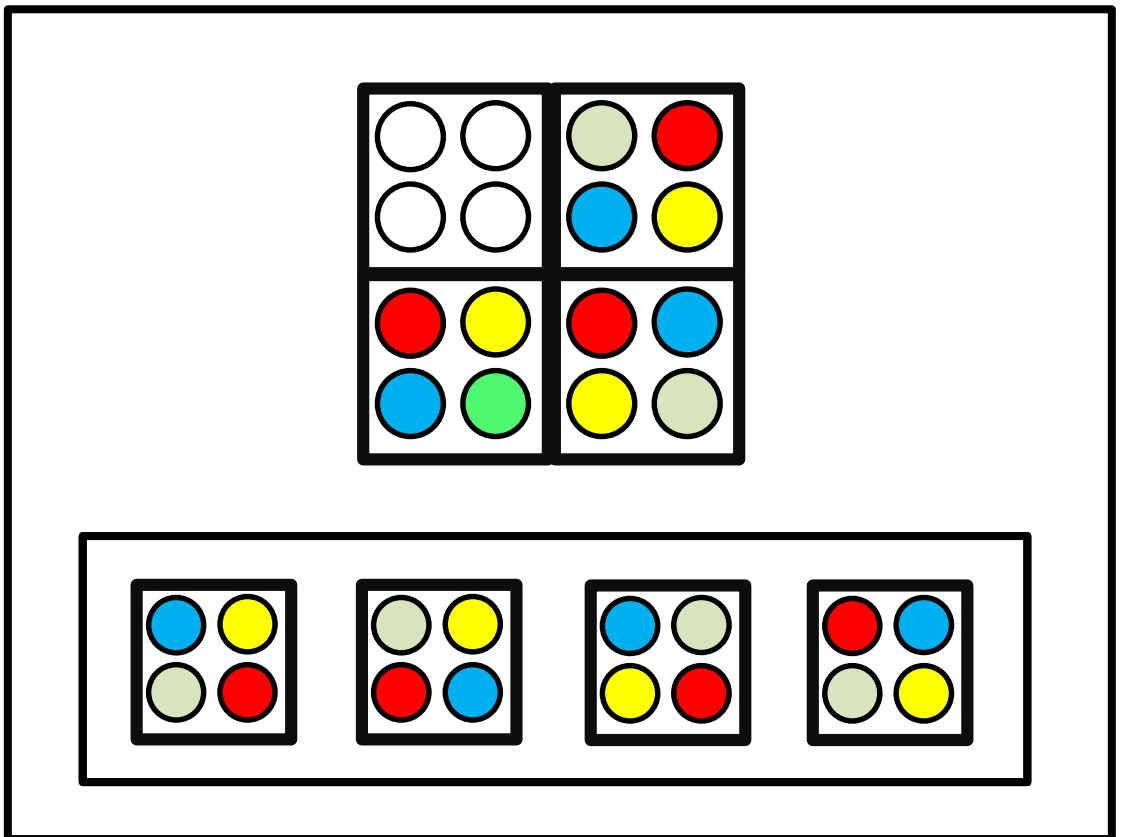
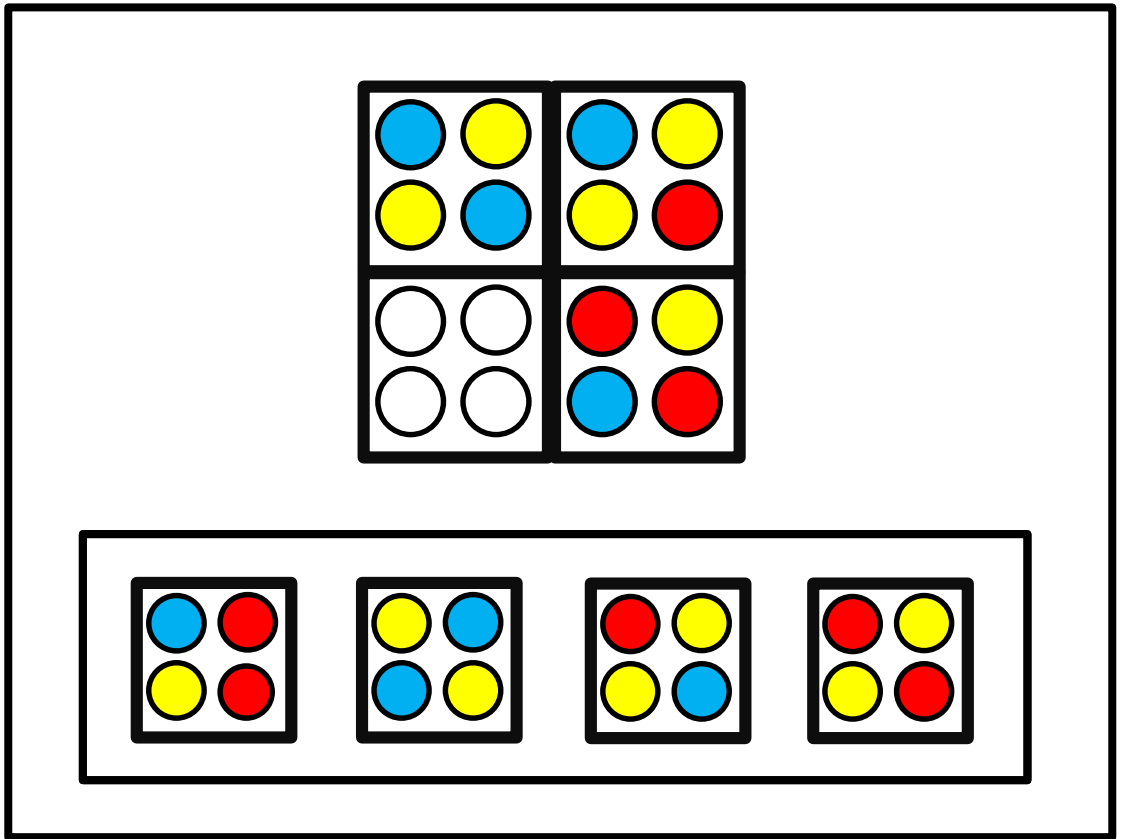
  

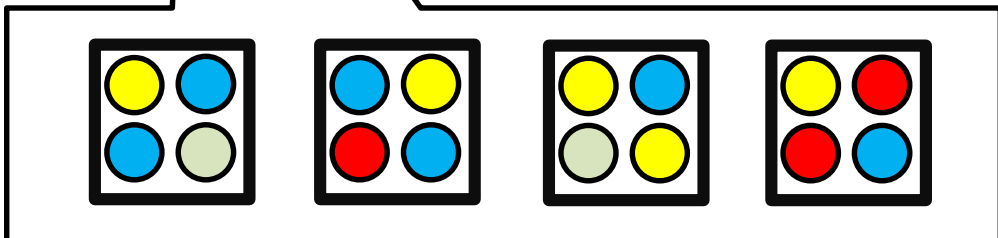
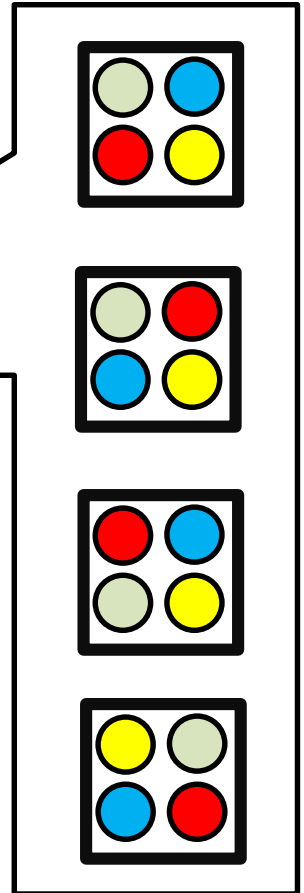
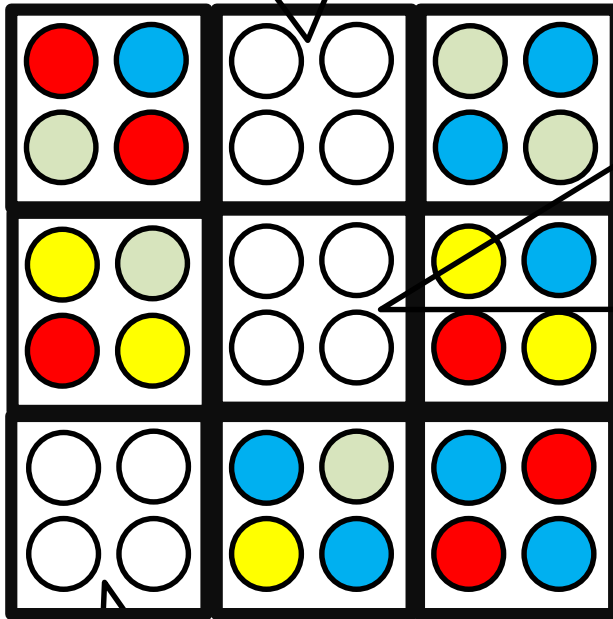
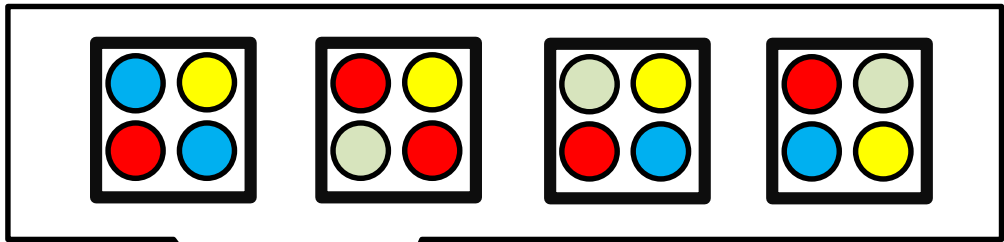
<table border="1"><tr><td>Red</td><td>Yellow</td></tr><tr><td>Blue</td><td>Red</td></tr></table>	Red	Yellow	Blue	Red	<table border="1"><tr><td>Yellow</td><td>Red</td></tr><tr><td>Red</td><td>Blue</td></tr></table>	Yellow	Red	Red	Blue	<table border="1"><tr><td>Blue</td><td>Yellow</td></tr><tr><td>Red</td><td>Blue</td></tr></table>	Blue	Yellow	Red	Blue	<table border="1"><tr><td>Yellow</td><td>Blue</td></tr><tr><td>Red</td><td>Yellow</td></tr></table>	Yellow	Blue	Red	Yellow
Red	Yellow																		
Blue	Red																		
Yellow	Red																		
Red	Blue																		
Blue	Yellow																		
Red	Blue																		
Yellow	Blue																		
Red	Yellow																		

<table border="1"><tr><td>Yellow</td><td>Red</td></tr><tr><td>Red</td><td>Yellow</td></tr></table>	Yellow	Red	Red	Yellow	<table border="1"><tr><td>White</td><td>White</td></tr><tr><td>White</td><td>White</td></tr></table>	White	White	White	White
Yellow	Red								
Red	Yellow								
White	White								
White	White								
<table border="1"><tr><td>Yellow</td><td>Red</td></tr><tr><td>Red</td><td>Yellow</td></tr></table>	Yellow	Red	Red	Yellow	<table border="1"><tr><td>Yellow</td><td>Red</td></tr><tr><td>Red</td><td>Yellow</td></tr></table>	Yellow	Red	Red	Yellow
Yellow	Red								
Red	Yellow								
Yellow	Red								
Red	Yellow								

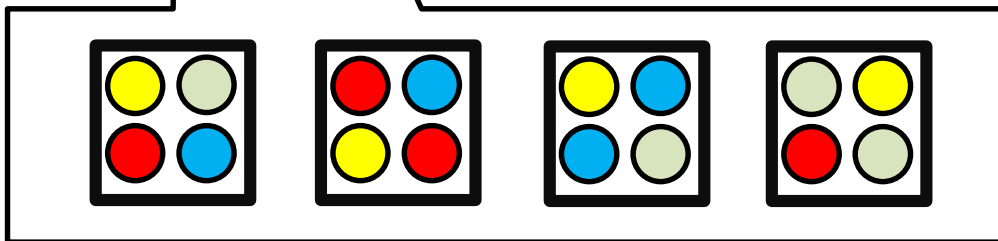
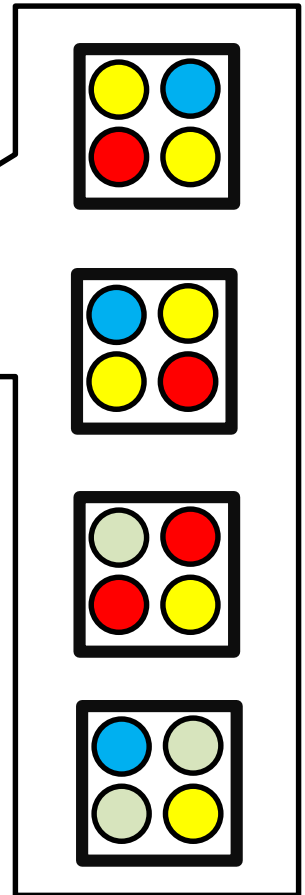
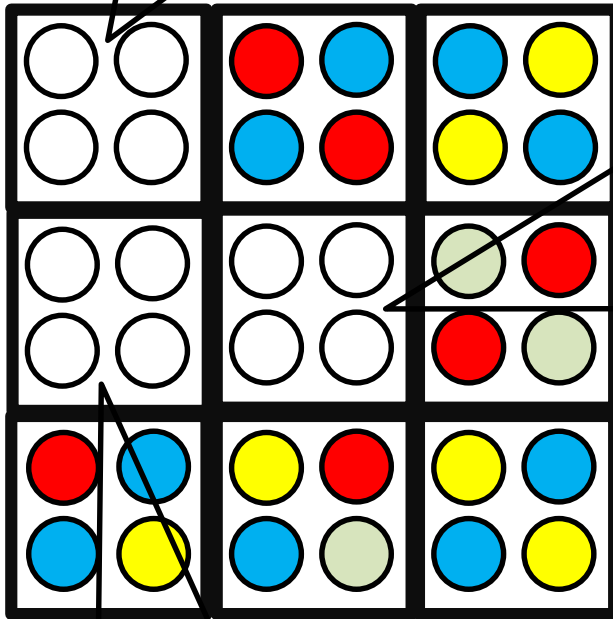
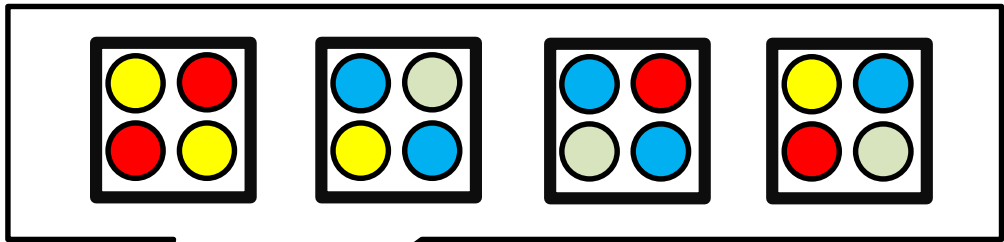
  

<table border="1"><tr><td>Red</td><td>Yellow</td></tr><tr><td>Yellow</td><td>Red</td></tr></table>	Red	Yellow	Yellow	Red	<table border="1"><tr><td>Yellow</td><td>Red</td></tr><tr><td>Red</td><td>Yellow</td></tr></table>	Yellow	Red	Red	Yellow	<table border="1"><tr><td>Yellow</td><td>Yellow</td></tr><tr><td>Red</td><td>Yellow</td></tr></table>	Yellow	Yellow	Red	Yellow	<table border="1"><tr><td>Yellow</td><td>Yellow</td></tr><tr><td>Red</td><td>Red</td></tr></table>	Yellow	Yellow	Red	Red
Red	Yellow																		
Yellow	Red																		
Yellow	Red																		
Red	Yellow																		
Yellow	Yellow																		
Red	Yellow																		
Yellow	Yellow																		
Red	Red																		









## 「ペーパーB」 発問文

これからペーパーBの問題をはじめます。四角く区切られた地面のとなりに、不思議なペンキの入ったバケツがあります。

このペンキで地面に色を塗ります。

バケツがあるところから、横か、縦に、まっすぐ最後までペンキを塗ります。

この不思議なペンキは、一回塗ったところは黄色になりますが、二回塗ったところは色が無くなります。

地面の途中で青色の池があった場合は、そこから先を塗ることはできません。

問題には、ペンキをつかって塗った地面と、使ったバケツが書かれています。

これらのバケツはどこにあったのか考えてください。

まずは練習です。ここにペンキを使って塗られた地面と、2つのバケツが置いてありますね。

これらのバケツが置いてあったところを考えて、バケツの数だけ点線の中に丸を書きましょう。

バケツがここに置いてあると、バケツのところから横にペンキが塗られます。もう1つのバケツがここにあると、バケツのある縦がペンキで塗られますが、右上のマスは2回塗られたため色が無くなります。

これで、最初の模様になりましたね。そのため、この2か所に丸を付けてください。

もし間違えところに丸を付けてしまった時には、2本の線で消して、正しいところに丸を付けてください。

このように、問題に書いてあるバケツの数だけ丸を書きましょう。問題は星が1つついたページから、4つついたページまであります。できるところまでどんどん進めましょう。それでは、始めてください。

やめてください。次のページを開いて、前の画面を見てください。

次の問題の説明をします。ボールが2つずつ入る箱がなっています。隣同士になる場所には、必ず違う色のボールが入ります。みなさんには、この箱に入るボールの色を考えてもらいます。

どの組み合わせのボールが入るか考え、下の4つの中から1つ選んで丸をしてください。

では、左側に入るボールについて考えてみましょう。ここでは、上に青色ボール、横に緑色ボールがあります。

そのため、この箱の左側に入れることができるのは、赤色か黄色のボールです。左側に黄色のボールと、赤色のボールが入っている箱は、これとこれですね。では、右側のボールはどうでしょう。

上に黄色のボールがあるので、右側に黄色のボールをいれることはできません。

そのため、この箱に入るボールは、黄色と緑色の組み合わせになることが分かります。ここに丸をつけてください。

間違えて丸をつけてしまった時は、2本の線を引いて消しましょう。

問題は、最後のページまで解いてください。

それでは、始めてください。

やめてください。

これで、ペーパーのお部屋でやることはおしまいです。

# 「作業」試験概要

**テーマ** 小学校に通うときに、一緒に連れていきたい「想像上の生き物」とそれをしまう「カバン」を作る。

## 材料

学校が用意するもの：画用紙・折り紙セット・お手拭き

家庭から持参するもの：スティックのり・ハサミ・クレヨン(12色)

## 発問・作業の流れ

「子どもにだけ見える不思議な生き物」と「生き物を入れるカバン」を作ることを伝える。

### 指示① 「カバン」の絵を描く

画用紙を指示の通りに折りまげ、指示された場所に、「カバン」の絵をクレヨンで描く。

### 指示② 「生き物の絵を描き、画用紙に貼る」

「子どもにだけ見える不思議な生き物」を、好きな色の折り紙に描く。

描き終わったら、周りを丸くハサミで切って、開いた画用紙の真ん中に、のりで貼り付ける

貼り付けた生き物に、色を付ける(クレヨンで塗る or 違う色の折り紙を切り貼りする)

### 指示③ 「片付け」

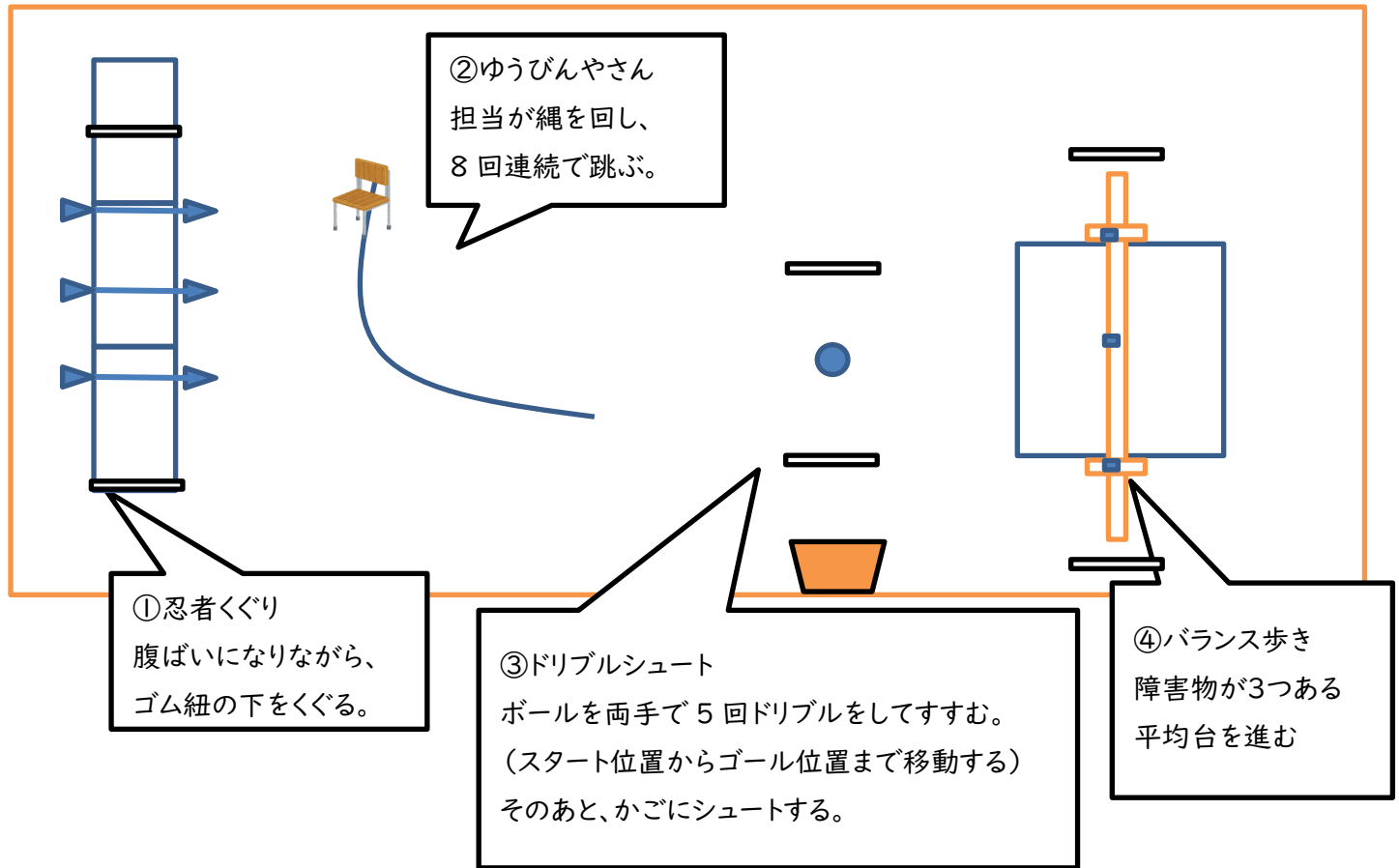
切った折り紙をゴミ箱に捨てる。

お家から持ってきた、はさみ・のり・クレヨンと余ったきれいな折り紙をかばんの中にしまう。

汚れてしまった手や机をお手拭きできれいにする。

## 「運動」 試験概要

方法：①～④の順に運動のやり方を説明しながら、模範を示した後、全員が1回練習を行う。  
各自が1回練習をした後、本番の試技を行う。



説明:

おはようございます。運動のやり方を話します。お手本を見ながらよく聞いて下さい。  
(説明に合わせて模範を示す)

①はじめに、忍者くぐりです。マットの上にねっころがり、おなかをマットに付け、よーいスタートの合図で、ゴム紐の下をぶつからないようにくぐりましょう。ゴールの白いテープにタッチしたらゴールです。

②つぎは、ゆうびん屋さんです。先生の縄に合わせて、なわを8回数える間、つづけてとびましょう。ひっかかっても、気にせず続けてとびましょう。

③つぎは、ドリブルシュートです。よーいスタートの合図で、ボールを両手で5回つづけてドリブルしながらゴールの線まで進みましょう。線までいったら、かごにシュートしましょう。

④最後はバランス歩きです。白いテープの前に立ちます。「よーい、スタート」の合図で、平均台に乗り、筒をよけながら落ちないようにわたって下さい。平均台の先にあるテープにおりたらゴールです。  
終わったらここに帰ってきて、順番に並んで待っててください。

# 「行動観察」試験概要

テーマ：「伝言ゲーム」 ～相手に正確にものごとを伝えよう～

概要：「伝える人」と「作る人」にわかれ、「伝える人」が指示を出した通りに「作る人が」動いたり、「作る人」が「伝える人」に質問したりして、写真で提示された造形物をつくる。  
対戦形式とし、早くできたほうが勝ちとする。

試験の流れ：

①伝言ゲームの概要を説明する。

2つのチームに分かれ、さらに各チームで「伝える人」と「作る人」に分かれる  
伝える人…渡された写真をみて、作る人が同じものを作れるように指示を出す。

口頭もしくは身振り手振りで指示を出す。(写真を見せてはいけない)

作る人…伝える人の指示に従い、物を持ってきて、造形物を作る。わからないことは伝える人に質問する。  
2つのチームの対戦形式とし、先に正しく造形物が作れたチームの勝ちとする。

②1回戦が終わったら、「伝える人」と「作る人」を交代して、同じことを行う。

③使ったものを片付けて作業終了。

